

# イチイ

学名 *Taxus cuspidata* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 イチイ科

科名学名 Taxaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

山地の尾根筋に点在し、個体数は極めて少ない。自然林の伐採により生育地の消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群,大分川・大野川丘陵地                              |
| 分布域   | 北海道,本州(北～中部,奈良),四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)        |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 山地の尾根筋の林内。                                    |
| 現 状   | 各地とも単木で生育している所が多い。「津江山地」では、台風の影響で衰弱しているものがある。 |
| 備 考   |   |

## ハリモミ

学名 *Picea polita* (Sieb. et Zucc.) Carr.

目名

目名学名

科名 マツ科

科名学名 Pinaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

主として山地の尾根筋に生育し、生育地は限られ、個体数は極めて少ない。自然林の伐採により生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 県内分布  | 津江山地, 祖母・傾山地                      |
| 分布域   | 本州(福島以南), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 |                                   |
| 生育環境  | 低山地や山地の尾根筋の林内。                    |
| 現 状   | 「津江山地」や「祖母・傾山地」の尾根筋には群生地がある。      |
| 備 考   |                                   |

## コウヤマキ

学名 *Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 コウヤマキ科

科名学名 *Sciadopityaceae*

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (祖母・傾山地)   |
| 分布域   | 本州(福島,中部以西),四国,九州(大分・宮崎)                                   |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  |  |
| 現状    | 「祖母・傾山地」に文献記録はあるが、その生育地は把握されていない。                          |
| 備考    | 日本列島に遺存的に分布している日本固有種。文献[林 弥栄:日本産重要樹種の天然分布 林業試験場研究報告(1951)] |

# ヒノキ(自生種)

学名 *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl.

目名

目名学名

科名 ヒノキ科

科名学名 Cupressaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

各地に植栽されているが、自生地は極めて限られている。山頂尾根部の岩角地に生育しているため、伐採は免れるものの、風衝など自然災害による倒木や崩壊による損傷が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 北川上流域(いずれも自生種)              |
| 分布域   | 本州(福島以西), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)         |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 山地の山頂尾根部の岩角地林内。                        |
| 現状    | 「耶馬溪地区」の文献記録はあるが、その生育地は把握できていない。       |
| 備考    | 文献[林弥栄; 日本産重要樹種の天然分布 針葉樹 第1報 55(1951)] |

# ネズ

学名 *Juniperus rigida* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 ヒノキ科

科名学名 Cupressaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

県内では主として県北地方の岩場に群生している。しばしば二次林に混生し、その伐採により減少や衰退が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 祖母・傾山地, 北川上流域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)               |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国(北部)                       |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の乾燥したやせ尾根や岩場。                        |
| 現 状   | 県北地域の凝灰岩地には、群生地がみられることがある。                  |
| 備 考   |   |

## ミヤマビャクシン

学名 *Juniperus sargentii* (Henry) Takeda ex Koidzumi

目名

目名学名

科名 ヒノキ科

科名学名 Cupressaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域が限られており、個体数も少ない。県内では「豊後水道域」に生育する海岸型のものと、「九重火山群」に生育する山地型のものがあるが、どちらの生育地のものも確認できる所は極めてまれである。過去、採取された経緯もあり、生育地の減少や絶滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群, 豊後水道域   |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎)  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 海岸の崖地や岩上に生育するものと、火山山頂帯の草原や林縁に生育するものがある。。   |
| 現状    | 「豊後水道域」の生育地も厳しい自然環境に耐えて生育している。自生地から移植したとされるものが半島の各所に生育している。「九重火山群」のものは標高1,300m以上の尾根筋にわずかに生育している。 |
| 備考    | 県指定天然記念物「横島のビャクシン」(米水津村)。「九重火山群」のものは、大正末期のころ当該地域から多量に庭木、盆栽用として掘り取られた記録がある。                       |

# ミクリ

学名 *Sparganium erectum* L. subsp. *stoloniferum* (Ham. ex Graebn.) Hara

目名

目名学名

科名 ミクリ科

科名学名 Sparganiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は点在して少ない。群生しているが、生育範囲は狭い。水質汚染や他の水生植物との競合で生育状態が悪化し、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 豊後水道後背地域                  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎)       |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, トルキスタン, アフガニスタン |
| 生育環境  | 低地の池沼や水溝。                          |
| 現 状   | 環境が悪化して、生育状態の衰退した所がある。             |
| 備 考   |                                    |

# ヤマトミクリ

学名 *Sparganium fallax* Graebn.

目名

目名学名

科名 ミクリ科

科名学名 Sparganiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は狭く、本県の生育地は点在し、群生しているが生育範囲は狭い。生育地の改修や水質汚染による生育環境の悪化、で生育地の減少が懸念される。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域          |
| 分布域   | 本州(関東地方以西), 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 | インド, ミャンマー                         |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池沼や河川。                      |
| 現 状   | 環境が悪化して生育状態の衰退した所がある。              |
| 備 考   |                                    |



# ナガエミクリ

学名 *Sparganium japonicum* Rothert

目名

目名学名

科名 ミクリ科

科名学名 Sparganiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

全国的にかなり広い範囲に分布するが、本県では人里近くのごく限られた所に生育し、生育地は狭い。生育地の改変や水環境の悪化による減少や消滅が懸念される。

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 県内分布  | 九重火山群                     |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島)  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島                      |
| 生育環境  | 丘陵地の浅い池沼や水溝。              |
| 現 状   | 周辺地の改変や水環境の変化で衰退した生育地がある。 |
| 備 考   |                           |

# ヒメミクリ

学名 *Sparganium stenophyllum* Maxim. ex Meinsh.

目名

目名学名

科名 ミクリ科

科名学名 Sparganiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は県の中・北部地域の池沼や灌漑用のため池(堤)などに点在し、しばしば群生する。水環境の変化による生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区,英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地,九重火山群,由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域 |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄                           |
| 世界的分布 | 中国(北部),中国(東北部),ウズリー  |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の池沼。  |
| 現 状   | 一部の生育地では池沼の水環境が悪化して、生育状態の把握できない所がある。                       |
| 備 考   |  |

## フトヒルムシロ

学名 Potamogeton fryeri A. Benn.

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は散在していて、良好な生育地が比較的多い。人里に近い生育地では、湿地や周辺地の開発による生育状態の悪化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 別府湾沿岸域 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎)             |
| 世界的分布 | 朝鮮半島                                     |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の池沼, 湿原の水溝。                       |
| 現 状   | 生育地は比較的多いが, 生育環境の不安定な所がみられる。             |
| 備 考   |  |

## センニンモ

学名 Potamogeton maackianus A. Benn.

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地)  |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),東シベリア,極東地方                            |
| 生育環境  | 低地の池沼。   |
| 現状    | 「中津・宇佐低地」で採集した標本はあるが、その生育地は水質汚濁がひどく、生育状態は把握されていない。 |
| 備考    |  |

# ササバモ

学名 *Potamogeton malaianus* Miq.

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

県内の生育地は点在し、個体数も少ない。河川の汚染や湖沼の埋め立てにより生育環境が悪化し、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄       |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, 台湾, 西インド, マレーシア         |
| 生育環境  | 丘陵地や低地の湖沼, 川。                              |
| 現 状   | 水の汚染に弱く, 生育状態の悪化した所がみられる。                  |
| 備 考   |  |

# オヒルムシロ

学名 Potamogeton natans L.

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は各地方の一部にみられ、本県の生育地も少ない。人里近い生育地は土地の改変や池沼の植生遷移の進行などで、消滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 日田低地・丘陵地, 九重火山群, 別府湾沿岸域                              |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄                 |
| 世界的分布 | 北半球温帯  |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の湿地や池沼。                                       |
| 現 状   | いくつかの生育地で、池の水生植物の競合や湿地の乾燥化などで生育状態が悪化し、衰退する生育地が生じている。 |
| 備 考   |  |

## ミズヒキモ

学名 *Potamogeton octandrus* Poir. var. *miduhikimo* Hara

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 *Potamogetonaceae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

当該種は、基本種ホソバミズヒキモの変種で、瘦果の背部に3稜が見られる。本県では「別府湾沿岸域」、「国東地区」の池沼に生育地が確認されている。ため池の水位や水質の変化で、生育の確認ができず、『レッドデータブックおおいた』(2001)では[情報不足]としていた。最近、2005,2007, 2008年と「別府湾沿岸域」の池沼でミズヒキモの生育が確認されたが、水質環境の変化で、生育環境が不安定である。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (国東地区), (由布・鶴見火山群), 別府湾沿岸域                                    |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(大分・鹿児島), 琉球  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部)   |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池沼。  |
| 現 状   | 「由布・鶴見火山群」の生育地は、観光開発のため生育環境が著しく改変され、消滅した模様。「国東地区」の生育地は生育状況不明。 |
| 備 考   |   |

# リュウノヒゲモ

学名 Potamogeton pectinatus L.

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)



## 【選定理由】

2004年に「別府湾沿岸域」で、2008年には「豊後水道域」でも、その生育が確認された。「豊後水道域」で生育が確認されているところも、河川の汚染や改修工事、自然災害などで消長が激しく、生育状況は不安定であり、その絶滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 別府湾沿岸域, (中津・宇佐低地), 豊後水道域  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球                           |
| 世界的分布 | 欧亜大陸, 北米, オーストラリア, アフリカ   |
| 生育環境  | 低地の湖沼, 河川。  |
| 現 状   | いずれの生育地もその詳しい生育状態は把握されていない。「豊後水道域」で100株ほど見られた生育地も、2009年にほとんど消滅した。 |
| 備 考   |   |



# イトモ

学名 Potamogeton pusillus L.

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は散在しているが、生育範囲は狭い。の一部が河川改修、池沼の水質汚濁や水生植物の植生推移などで生育環境が悪化し、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 日田低地・丘陵地, 九重火山群 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄  |
| 世界的分布 | 全世界                                      |
| 生育環境  | 低地から低山地の池沼や水溝。                           |
| 現状    | ため池や人里に近い生育地では、生育環境が悪化して消滅した所がある。        |
| 備考    |  |

# カワツルモ

学名 *Ruppia maritima* L. var. *japonica* Hara

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)



## 【選定理由】

分布域は狭く、かつては国東海岸や周防灘沿岸の汽水域の池で確認されていたが、近年、その多くで生育が確認できない。生育地が極めて限られており、確認された池も生育状態の消長が不安定で、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 周防灘海岸, (姫島・国東海岸)   |
| 分布域   | 本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球  |
| 世界的分布 | 欧亜大陸, アメリカ, アフリカ   |
| 生育環境  | 海辺の塩水池沼。   |
| 現 状   | 海岸部の生育地は極めて狭く、かつて、その生育地は開発の予定もあった。また、この植物の生育地での消長が激しく、詳しい生態が把握されていない。海岸土手の工事では、その影響で一時浮き藻を生じていたが、工事終了に伴い、安定した生育状況となっている。 |
| 備 考   |  |

# イトクズモ

学名 *Zannichellia palustris* L. var. *indica* (Cham.) Graebner

目名

目名学名

科名 ヒルムシロ科

科名学名 Potamogetonaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は狭く、本県の生育地は点在して少ない。池沼の水質汚濁や水生植物の競合などで生育状態が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域  |
| 分布域   | 本州,九州(大分),沖縄   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),インド,中央アジア,アフリカ,シベリア,欧州                      |
| 生育環境  | 低地の池沼や水溝。  |
| 現 状   | 生育地の一部では池の水質汚濁のため生育しているかどうか不明。生育環境が不安定で、持続的な生育状態の把握が難しい。 |
| 備 考   |  |

# ホッスモ

学名 *Najas graminea* Del.

目名

目名学名

科名 イバラモ科

科名学名 Najadaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

10年ほど前までは、良好な生育地が散在していたが、近年、水質汚濁がひどくなり、生育状態の把握し難いため池が多くなり、生育環境の悪化が懸念される。

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 県内分布  | 国東地区, 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域       |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄      |
| 世界的分布 | アジア, アフリカ, オーストラリア, ヨーロッパ            |
| 生育環境  | 低地の池沼。                               |
| 現 状   | 近年, ため池の汚染がひどくなり, 良好な生育地がみられなくなってきた。 |
| 備 考   |                                      |

# サガミトリゲモ

学名 *Najas indica* (Willd.) Cham.

目名

目名学名

科名 イバラモ科

科名学名 Najadaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 県内分布  | (別府湾沿岸域)                   |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(大分・宮崎・鹿児島)      |
| 世界的分布 | 台湾, インド, マレーシア, フィリピン      |
| 生育環境  | 低地の池沼。                     |
| 現 状   | 生育地の環境が変わり, 生育状態は把握されていない。 |
| 備 考   |                            |

# イトトリゲモ

学名 *Najas japonica* Nakai

目名

目名学名

科名 イバラモ科

科名学名 Najadaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は点在して少ない。近年、水質汚染や水辺の開発などで生育環境が悪化し、生育地が減少したり消滅したりして絶滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 姫島・国東海岸, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域          |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(大分)                               |
| 世界的分布 | 中国(東北部)                                      |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の水溝や池沼。                                |
| 現 状   | 水位の変化が著しい池沼では, その生育状態が不安定で生育状態の把握できていない所がある。 |
| 備 考   | 本県は分布の南限域にあたる。                               |

# イバラモ

学名 *Najas marina* L.

目名

目名学名

科名 イバラモ科

科名学名 Najadaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育するため池は少ないが、良好な生育地では群生していた。近年、水質汚染がひどく、衰退した生育地が多くなり、生育環境の悪化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 中津・宇佐低地                                       |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・鹿児島), 沖縄                    |
| 世界的分布 | 全世界  |
| 生育環境  | 低地の池沼。   |
| 現 状   | 10年ほど前まで旺盛に生育していたため池で水質が悪くなり, その生育状態が把握し難くなってきた所がある。 |
| 備 考   |  |

# トリゲモ

学名 *Najas minor* All.

目名

目名学名

科名 イバラモ科

科名学名 Najadaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は希で、生育範囲は狭い。水位の増減が著しく生育環境が不安定な生育地が生じ、消滅の危険性が高くなっている。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地                                 |
| 分布域   | 本州,九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島),沖縄                  |
| 世界的分布 | アジア,アフリカ,ヨーロッパ                          |
| 生育環境  | 低地の池畔。                                  |
| 現 状   | 生育地はため池上辺部の浅い池畔に多く、水位の増減で、生育状態に消長がみられる。 |
| 備 考   |   |



## コアマモ

学名 *Zostera japonica* Aschers. et Graebn.

目名

目名学名

科名 アマモ科

科名学名 Zosteraceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

河口付近の塩水，又は汽水域の水の中に群生するが，量的には把握されてない。川の汚染や採砂などの影響を受けやすく，減少傾向にあり，生育地の消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 周防灘海岸，別府湾沿岸域，豊後水道域                                     |
| 分布域   | 北海道，本州，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，琉球                 |
| 世界的分布 | アジア，ヨーロッパ，アフリカ   |
| 生育環境  | 浅い海の砂泥地。   |
| 現 状   | 河口付近の水深1～2mの泥底に群生していて，干潮時でもほとんどみえない。そのため詳細な生育状態は明かでない。 |
| 備 考   |  |

## シバナ

学名 *Triglochin maritimum* L.

目名

目名学名

科名 ホロムイソウ科

科名学名 Scheuchzeriaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は海岸や河口の塩性泥地の限られた場所で、生育地、個体数ともに極めて少ない。海岸の埋立てや河川の改修工事によって改変され、消滅する生育地が多くなり、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 周防灘海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域                    |
| 分布域   | 本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 | 朝鮮, 満州, 中国                              |
| 生育環境  | 海岸や河口の泥地。                               |
| 現 状   | 海岸の埋立てや河川改修工事などで消失した生育地がある。             |
| 備 考   | 国定公園指定植物[耶馬日田英彦山, 日豊海岸]                 |

## マルバオモダカ

学名 *Caldesia reniformis* (D.Don) Makino

目名

目名学名

科名 オモダカ科

科名学名 Alismataceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地), (由布・鶴見火山群)  |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)   |
| 世界的分布 | 中国, インド, オーストラリア, マダガスカル   |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池沼。   |
| 現 状   | 生育地として「中津・宇佐低地」のため池があったが, 2000年ごろから生育の確認ができなくなった。ため池の水位の変化が激しく, 生育環境が不安定でヨシの優占度が変化して, 消滅した可能性も考えられる。同じ地域に生育地していたスブタも同様に消滅した。 |
| 備 考   |  |

# アギナシ

学名 *Sagittaria aginashi* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 オモダカ科

科名学名 Alismataceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

各地で生育地がみられたが、生育地は人里近い所に多く、湿地の開発や水溝の改修などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 姫島・国東海岸, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 別府湾沿岸域, 大野川上流域 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島                                     |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の湿地や水溝。                            |
| 現状    | 市街地周辺や農耕地帯の生育地では, 土地開発により消滅した所がある。       |
| 備考    |  |

## マルミスブタ

学名 *Blyxa aubertii* L. C. Rich.

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 県内分布  | (耶馬溪地区)                             |
| 分布域   | 本州,九州(大分・鹿児島),沖縄                    |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,台湾,中国,マレーシア～オーストラリア,インド,マダガスカル |
| 生育環境  |                                     |
| 現 状   | 「耶馬溪地区」で採集された標本はあるが,その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   |                                     |

## スブタ

学名 *Blyxa aubertii* L.C.Rich.var. *echinosperma* (Clarke) Cook. et Luond.

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地)  |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球                            |
| 世界的分布 | 台湾, 朝鮮半島, 中国, インドシナ, ミャンマー, インド, マレーシア, オーストラリア                  |
| 生育環境  | 低地の池沼。   |
| 現 状   | 「中津・宇佐低地」の記録があるが, 2000年ごろから生育状況の把握ができていない。ため池水位の変化で消滅したものかも知れない。 |
| 備 考   |  |

# ヤナギスブタ

学名 *Blyxa japonica* (Miq.) Maxim.

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は散在し、個体数はかなり多い。湿地や池沼の開発などで生育地の一部は消滅した所がある。ハス田の開発や放置、水溝工事などで生育環境の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域      |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 台湾～インド, マレーシア                     |
| 生育環境  | 低地や丘陵地のハス田や湿地。                          |
| 現 状   | 低地のハス田や湿地の生育地で開発されたり, 放置されたりして消滅した所がある。 |
| 備 考   |   |

# ウミヒルモ

学名 *Halophila ovalis* (R.Br.) Hook. fil.

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は狭い。本県の生育地は極めて希で、個体数も少ない。生育地での築港や埋め立て、港湾の浚渫などの海岸開発により、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域   |
| 分布域   | 本州(紀伊, 若狭, 能登, 相模等), 四国, 九州(福岡・大分・鹿児島), 沖縄   |
| 世界的分布 | インド, マレーシア, オーストラリア, ポリネシア, アフリカ   |
| 生育環境  | 浅海の砂泥地。  |
| 現状    | 浅海中の生育で, 十分な生育地の把握ができていなかったが, 最近, 県内の生育状況が明らかになってきている。「豊後水道域」の標本はあるが, その生育状況は把握されていない。 |
| 備考    |  |



## トチカガミ

学名 *Hydrocharis dubia* (Bl.) Backer

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (耶馬溪地区), (中津・宇佐低地), (姫島・国東海岸), (別府湾沿岸域)               |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島), 沖縄                    |
| 世界的分布 | 東南アジア, 北オーストラリア                                       |
| 生育環境  | 低地の水溝や池沼。   |
| 現 状   | 上記地域で採集された標本はあるが, いずれの生育地も水質汚濁による環境の変化で, その後の生育状態は不明。 |
| 備 考   |   |

# ミズオオバコ

学名 *Ottelia alismoides* (L.) Pers.

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)



## [選定理由]

生育地が散在しているが、個体数は少ない。水田地帯の生育地は、農薬汚染や土地開発、圃場整理などでほとんど消滅してしまい、他の生育地の生育環境も悪化して、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大野川上流域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                                 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, ウスリー, インド, オーストラリア                             |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池沼や水溝。   |
| 現 状   | 低地の生育地はほとんど絶滅状態。丘陵地の池沼の生育地も生育環境の悪化で消滅した所がある。「豊後水道域」は埋め立てられて消滅。    |
| 備 考   |   |

# セキショウモ

学名 *Vallisneria natans* (Lour.) Hara

目名

目名学名

科名 トチカガミ科

科名学名 Hydrocharitaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

全国的には広く分布しているが、本県では生育地は限られる。過去に確認された所も、水の汚染、河川改修などの影響を強く受けてみられなくなっており、生育環境の悪化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道後背地域                               |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄 |
| 世界的分布 | 東亜,インドシナ                               |
| 生育環境  | 低地の河川や水溝。                              |
| 現 状   | ここ10年, かなり個体数が減少した生育地がある。              |
| 備 考   |  |

# ハネガヤ

学名 *Achnatherum pekinense* (Hance) Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

隔離分布し、九州では本県だけに分布する。生育地が路傍に点在し、個体数は極めて少ない。道路工事や路辺の草刈りなどで、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 由布・鶴見火山群   |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(大分)  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,樺太,中国(北部),南千島,東シベリア                                 |
| 生育環境  | 丘陵地の林縁。  |
| 現状    | 高原観光地の主要道路の路傍に点在し、林縁沿いに生え、個体数が極めて僅少。しばしば路辺の草刈りで刈り取られている。 |
| 備考    | 北方寒冷地要素の植物。本県は分布の南限域にあたる。                                |

## イシヅチコウボウ

学名 Anthoxanthum japonicum (Maxim.) Hack. var. sikokianum (Ohwi) Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (九重火山群)   |
| 分布域   | 四国,九州(大分・鹿児島)                                     |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 火山山頂帯の草原。   |
| 現 状   | 「九重火山群」の標本はあるが、その生育状況は把握されていない。生育地一帯は土砂の崩壊が進んでいる。 |
| 備 考   | ソハヤキ要素の植物。  |

## イワタケソウ

学名 *Asperella japonica* Hack.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (英彦山・犬ヶ岳山地), (津江山地), (由布・鶴見火山群)   |
| 分布域   | 本州(三重・長野西部・山口:寂地山), 四国, 九州(福岡・大分)   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  |   |
| 現状    | 「英彦山・犬ヶ岳山地」, 「津江山地」, 「由布・鶴見火山群」の標本や文献記録はあるが, いずれもその生育地は把握されていない。  |
| 備考    | 基準標本産地[犬ヶ岳]。文献[本田正次: Monographia Poacearum Japonicarum Bambusoideis exclusis 東京帝国大学理学部紀要 第三類 植物学(1930)] |

## ビロードキビ

学名 *Brachiaria villosa* (Lam.) A.Camus

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (豊後水道域),(豊後水道後背地域)                             |
| 分布域   | 本州(和歌山),四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球                 |
| 世界的分布 | 台湾,インド,マレーシア                                   |
| 生育環境  | 沿海地の草地。  |
| 現 状   | 「豊後水道域」,「豊後水道後背地域」の標本や記録はあるが,いずれの生育地も把握されていない。 |
| 備 考   |  |

# ホガエリガヤ

学名 *Brylkinia caudata* (Munro) Fr. Schm.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地、個体数とも少ない。低山地の生育地では森林伐採や下刈りなどにより生育環境が変化し、生育地の減少が懸念される。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 祖母・傾山地 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎)       |
| 世界的分布 | 千島, 樺太, 中国(東北部)                    |
| 生育環境  | 低山地や山地のやや湿った林縁や林内。                 |
| 現 状   | 登山路沿いの林縁では生育地の把握できなくなった所がある。       |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物。九州は分布の南限域にあたる。          |



# クジュウノガリヤス

学名 *Calamagrostis autumnalis* Koidz.umi var. *microtis* Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域が狭い。本県では、火山地域の草原に群生し、個体数は少ない。山麓の生育地では土地の改変や植生遷移により、山頂帯では植生遷移の進行や登山者の踏圧などで生育環境が変化し、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群, 由布・鶴見火山群  |
| 分布域   | 九州(大分)   |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 山麓や火山山頂帯の草原や林縁。  |
| 現 状   | 山頂帯の風衝地草原に点在するが、山麓の林縁や草原などにも生育している。                                      |
| 備 考   | 九重山の特産種とされてきた。基準標本産地[くじゅう黒岳]。キリシマノガリヤスの変種で、葉身の基部はほとんど耳状にはり出さず、花序の枝はざらつく。 |

# ホッスガヤ

学名 *Calamagrostis pseudo-phragmites* (Haller fil.) Koeler

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

九州では本県だけに分布し、分布の南限域となっている。生育地は少なく、崩壊地などの不安定な生育環境に生えるため、生育状態の消長が著しく、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群                                  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 九州(大分)  |
| 世界的分布 | 旧大陸温帯  |
| 生育環境  | 低山地や山地の崩壊地や溪流辺。  |
| 現 状   | 崩壊地などの不安定な環境に生育し, しばしば群生することがある。生育状態の消長が著しく, 消滅した所がある。 |
| 備 考   | 本県は分布の南限域にあたる。   |

## タカネノガリヤス

学名 *Calamagrostis sachalinensis* Rendle

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (祖母・傾山地)   |
| 分布域   | 北海道,本州(北～中部),四国,九州(大分)   |
| 世界的分布 | 樺太,南千島,カムチャッカ  |
| 生育環境  | 山地の岩場や林縁?  |
| 現状    | 「祖母山」の標本及び文献記録がある。   |
| 備考    | 北方寒冷地要素の植物。本県は分布の南限域にあたる。文献[初島住彦:九州新産植物 タカネノガリヤスが祖母山に産する。レポート 日本の植物(1988)] |

# タシロノガリヤス

学名 Calamagrostis tashiroi Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I B (EN)

NO IMAGE

## 【選定理由】

四国と九州に限られて分布する。本県でも生育地がごく限られ、個体数も極めて少ない。植生遷移の進行や人による踏みつけなどで、絶滅の危険性が高い。

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 県内分布  | 豊後水道後背地域, 祖母・傾山地, 北川上流域             |
| 分布域   | 四国,九州(大分・宮崎・鹿児島)                    |
| 世界的分布 |                                     |
| 生育環境  | 低山地や山地の岩場, 林内。                      |
| 現 状   | 尾根筋の岩角地に, ごくわずかに生育している。             |
| 備 考   | ソハヤキ要素の植物。基準標本産地[傾山], 国定公園指定植物[祖母傾] |

# ヒナザサ

学名 *Coelachne japonica* Hack.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域は狭い。本県の生育地、個体数ともに少なく、水辺や湿地に生える小形1年草のため、水環境や植生の遷移の影響を受けやすく、生育環境の悪化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 九重火山群, 由布・鶴見火山群                   |
| 分布域   | 本州,九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)                   |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の水辺や湿地。                           |
| 現 状   | 生育地が散在し,群生するが,その生育範囲は狭い。水環境の変化で消滅した所がある。 |
| 備 考   |  |

## コメススキ

学名 *Deschampsia flexuosa* (L.) Trin.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

九州では鹿児島県と本県だけに分布する。県内では主として火山山頂帯に生育し、植生の遷移や登山者の踏圧の影響を受け、生育環境の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群, (祖母・傾山地)                                 |
| 分布域   | 北海道, 本州(北～中部, 奈良: 大峰山, 伯耆大山), 四国, 九州(大分・鹿児島)    |
| 世界的分布 | 北半球, 南米(パタゴニア), アフリカ                            |
| 生育環境  | 火山山頂帯の草原。                                       |
| 現 状   | 低木林が発達し減少した所がある。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]                     |

# ミズタカモジ

学名 *Elymus humidus* (Ohwi et Sakamoto) Osada

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

「豊後水道後背地域」の休耕田に群生していたが、耕作されるようになり、個体数が激減している。今後の生育環境変化で絶滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道後背地域                                     |
| 分布域   | 本州,九州(福岡・佐賀;熊本・大分・宮崎・鹿児島)                    |
| 世界的分布 | 中国   |
| 生育環境  | 低地の水田, 休耕地。                                  |
| 現 状   | 2006年ごろは休耕田に数多く見られたが, 2010年現在では10数株ほどになっている。 |
| 備 考   |  |

# ウンヌケモドキ

学名 *Eulalia quadrinervis* (Hack.) O.Kuntze

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

日当たりのよい尾根や海岸草原にみられるが、植林や草原の森林化により生育地は少なくなり、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道域  |
| 分布域   | 本州(東海道以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄 |
| 世界的分布 | 中国, フィリピン, インド                               |
| 生育環境  | 海岸近くの岩場や草原。                                  |
| 現 状   | 以前は多くみられたが、生育地の草原が少なくなり、現在は数か所だけが確認されている。    |
| 備 考   |  |



# ヤマトボシガラ

学名 *Festuca japonica* Makino

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は疎らで、九州では本県だけに分布している。生育地、個体数ともに極めて希。把握されている生育地は、高原の谷沿いの残存林で、森林伐採や植生遷移の進行で絶滅する危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (英彦山・犬ヶ岳山地),九重火山群  |
| 分布域   | 本州,四国,九州(大分)   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,台湾  |
| 生育環境  | 低山地や山地の林縁や林内。  |
| 現 状   | 生育地は,草原内に残された谷沿いの林内で,生育範囲は狭い。                                  |
| 備 考   | 九州では本県だけに分布し,国内分布の南限域となっている。「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。 |

# ヒロハノドジョウツナギ

学名 *Glyceria leptolepis* Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は少なく、多くは農耕地域と接するため、採草地や畑地に改変されて生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 県内分布  | 津江山地, 九重火山群, 大野川上流域           |
| 分布域   | 北海道, 本州, 九州(熊本・大分)            |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 台湾, 中国, 中国(東北部), ウスリー   |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の湿地や水溝。                |
| 現 状   | 丘陵地では、採草地や畑地に改変されて消滅した生育地がある。 |
| 備 考   |                               |

# ハイチゴザサ

学名 *Isachne nipponensis* Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は点在して少ない。植物体は小さく、群生する面積も狭い。水辺や湿地に生えるため、河川改修や流失などによる生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 豊後水道後背地域   |
| 分布域   | 本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄                 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)  |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の溪流辺湿地。   |
| 現 状   | 小形の多年草で, 地を這って群生しているが, その生育範囲は狭い。生育環境の変化に影響されやすく, 衰退した所がある。 |
| 備 考   |   |

# ケカモノハシ

学名 *Ischaemum antheboroides* (Steud.) Miq.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

生育地は海岸砂地に限られ、しばしば群生する。海岸の埋立や植林などにより生育地の多くを消失しており、今後さらに生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 周防灘海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域                   |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 | 朝鮮, 中国                                 |
| 生育環境  | 海岸の砂地。                                 |
| 現状    | 海岸の埋立てや砂浜の改変などによって、消滅した生育地が多い。         |
| 備考    |  |

# カモノハシ

学名 *Ischaemum aristatum* L. var. *glaucum* (Honda) T. Koyama

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

沿海地に分布するが県内では生育地は少ない。海岸の改修や湿地の埋め立てなどで、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域              |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)            |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部)                                |
| 生育環境  | 沿海地の湿地。                                      |
| 現状    | 海岸の開発, 改修や湿地の埋め立て, 植生遷移による環境変化で, 消滅した生育地がある。 |
| 備考    |  |

## ヒロハノサヤヌカグサ

学名 *Leersia sayanuka* Ohwi var. *latifolia* (Honda) Ohwi

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (耶馬溪地区), (英彦山・犬ヶ岳山地)   |
| 分布域   | 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 「耶馬溪地区」, 「英彦山・犬ヶ岳山地」の文献記録はあるが, いずれの生育地も把握されていない。文献[大井次三郎; 植垂植物資料 16 植物分類地理 7 (1938)] |
| 備 考   |  |

# コメガヤ

学名 *Melica nutans* L.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は極めて希で、生育する範囲も狭い。路傍近くで人為の影響を受けやすく、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群, 豊後水道域                            |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 樺太, 千島, 中国～シベリア, 欧州               |
| 生育環境  | 低山地の林縁。                                 |
| 現 状   | 「九重火山群」は道路に沿う里宮の周辺に生え、採草などにより一部が消滅している。 |
| 備 考   |   |

## ミチシバ

学名 *Melica onoei* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は人里近くで、生育範囲は狭く、道路工事や植生遷移の進行などで絶滅する危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 大分川・大野川丘陵地,(豊後水道域)                           |
| 分布域   | 本州(関東以西),四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎)                  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),中国                              |
| 生育環境  | 丘陵地の路傍や水田畦地。                                 |
| 現状    | 路傍上辺に群生しているが,生育する面積は狭く,土地の改変や植生の遷移の影響を受けやすい。 |
| 備考    | 「豊後水道域」で採集された標本はあるが,その生育地は把握されていない。          |



## ヌマガヤ

学名 *Molinia japonica* (Hack.) Hayata

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県内の生育地は火山地域に点在し、しばしば群生する。湿地の陸化や改変で環境が変化した所があり、生育状態の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群                               |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)           |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 南千島                                     |
| 生育環境  | 火山性高原や火山山頂帯の湿地。                               |
| 現状    | 群落を形成している所は, 比較的安定しているが, 狭い谷沿いの生育地では消滅した所がある。 |
| 備考    |   |

# ハイキビ

学名 *Panicum repens* L.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

海岸の砂浜に極めて希に生育し、しばしば群生する。港湾整備により消滅した所もあり、砂浜の改良工事や植林により、絶滅の危険性は高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道域  |
| 分布域   | 四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄                  |
| 世界的分布 | 全世界の亜熱帯,熱帯                                       |
| 生育環境  | 海岸の砂地。   |
| 現 状   | 生育地が港湾整備により消滅した所,記録はあるが生育の把握できない所があり,生育地は局限している。 |
| 備 考   | 暖地植物。  |

# ムカゴツツリ

学名 *Poa tuberifera* Faurie ex Hack.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

軟弱な多年草で、溪流辺や滝壺周辺に生育しており、生育地は希で、生育範囲も狭い。植生遷移の影響を受け、出水などで生育地が流失したり、埋没したりする懸念がある。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地        |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(大分・宮崎)                  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(済州島)                          |
| 生育環境  | 低山地の溪流辺の林縁。                        |
| 現 状   | 植物体が軟弱で、花期(4~5月)でないと把握しにくい。        |
| 備 考   | 日本特産とされてきたが、朝鮮半島(済州島)での生育が確認されている。 |

## コササキビ

学名 *Setaria plicata* (Lam.) T. Cooke

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (豊後水道域)  |
| 分布域   | 四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄                          |
| 世界的分布 | 台湾,中国(南部),インド,セレベス                                       |
| 生育環境  | 海岸の草地。   |
| 現状    | 亜熱帯に分布する植物で「豊後水道域」の島や岬の記録がある。港湾工事などにより生育地は大きな影響をうけ、現状不明。 |
| 備考    | 文献[田代晃二;田代善太郎日記 大正篇(1972)]                               |

# チシマカニツリ

学名 *Trisetum sibiricum* Rupr.

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

日本における分布域が狭く、九州では本県だけに分布し、主として火山山頂帯の草原に希産する。生育地の森林遷移による生育環境の変化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群, 由布・鶴見火山群                                   |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(大分)                               |
| 世界的分布 | 欧亜大陸～アラスカ   |
| 生育環境  | 低山地や火山山頂帯の草原。                                     |
| 現 状   | ササ草原やススキ草原に生え, 群生することは少ない。草原の森林化により生育状態の衰退した所がある。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物。本県は分布の南限域にあたる。                         |

# コオニシバ

学名 *Zoysia sinica* Hance

目名

目名学名

科名 イネ科

科名学名 Gramineae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

全国的には分布は極めて限られる。本県では「豊後水道域」に偏在し、生育地は少ない。港湾整備、砂浜の改良工事や植樹による影響で生育環境の悪化が懸念される。

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 県内分布  | 豊後水道域                            |
| 分布域   | 九州(大分・鹿児島),沖縄                    |
| 世界的分布 | 台湾,中国                            |
| 生育環境  | 海岸の砂浜や岩場。                        |
| 現 状   | 確認される生育地は少なく、海岸の道路工事などで消滅した所がある。 |
| 備 考   | 暖地植物。                            |

# イトテンツキ

学名 *Bulbostylis densa* (Wall.) Hand.-Mazz. var. *capitata* (Miq.) Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

暖地性の植物で、県内では岩場や火山性草原に生育する。植林や野焼きの停止などによる植生の遷移、高原地域の畑地や人工牧野などによる土地改変で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄            |
| 世界的分布 | マレーシア   |
| 生育環境  | 低地から山地の日当たりのよい草原や岩場。                          |
| 現 状   | 草丈が低いいため, 植生遷移の進行や土地改変により消滅した生育地が多い。          |
| 備 考   |   |

# オオナキリスゲ

学名 *Carex autumnalis* Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

2009年に「大分川・大野川丘陵地」で生育地が確認された。分布域は限られ、九州では長崎県の対馬と大分県だけに偏在し、生育地、個体数ともに極めて少ない。環境の変化、植生の遷移で、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 県内分布  | 大分川・大野川丘陵地                          |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(長崎・大分)                   |
| 世界的分布 |                                     |
| 生育環境  | 低地の急峻な崖地林縁。                         |
| 現 状   | コナラ林, アラカンシ林の林縁に生育しており, 個体数は極めて少ない。 |
| 備 考   |                                     |



# ベンケイヤワラスゲ

学名 *Carex benkei* Tak. Shimizu

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

2009年に新種として発表されたもので、県内の分布域は限られており、個体数も多くない。湿地やため池の水位の変化や水質の変化、土地改良等などで、絶滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地  |
| 分布域   | 本州(関東地方以西), 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分)                |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低地の湿地やため池の池畔。                                  |
| 現 状   | 水量が適切であるため池では、ため池の周辺に群生している。畔の雑草として刈られたところもある。 |
| 備 考   |  |

# ケタガネソウ

学名 *Carex ciliato-marginata* Nakai

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は人里近くの林内に散在し、しばしば群生するが、その生育範囲は広くない。森林伐採や林道工事などの影響が懸念される。

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 別府湾沿岸域                       |
| 分布域   | 本州(中～西部), 四国, 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部, 北部)                   |
| 生育環境  | 低山地の林縁や林内。                          |
| 現 状   | 常緑広葉樹林内の乾燥した林床に生え, 森林伐採で衰退した生育地がある。 |
| 備 考   |                                     |

# オニスゲ

学名 *Carex dickinsii* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は希で、個体数も少ない。多くは草原の谷沿い溪流辺に帯状に生育し、草原の開発や池畔の観光開発で消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地,(九重火山群)                                      |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                                   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島  |
| 生育環境  | 丘陵地の湿地や水流辺。   |
| 現状    | 湿地や水流辺に帯状に分布し,群生するが,生育地の面積は狭い。「九重火山群」の標本や文献記録はあるが,生育地は把握されていない。 |
| 備考    | 文献[大井次三郎;Cyperaceae Japonicae II 京都大学理学部紀要 Ser.B18(1943)]       |

# ビロードスゲ

学名 *Carex fedia* Nees subsp. *miyabei* (Franch.) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

主として高原の溪流辺や湿地に群生しているが、一帯は土地開発が著しく進み、河岸工事なども伴って生育地が減少しており、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (玖珠丘陵地・山地), 九重火山群                                 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                      |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地の溪流辺や湿地。                                       |
| 現 状   | しばしば群生するが、生育地は分断されていて、いずれも面積は狭い。集落付近では消滅した生育地が多い。 |
| 備 考   | 九州は分布の南限域にあたる。                                    |

## ウマスゲ

学名 *Carex idzuroei* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は極めて希。生育地のため池は水質汚染がひどく、生育環境の悪化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地,(玖珠丘陵地・山地),(豊後水道後背地域)  |
| 分布域   | 本州(関東以西),四国,九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)   |
| 世界的分布 | 中国   |
| 生育環境  | 池沼の水湿地や池畔。   |
| 現状    | 最近、「中津・宇佐低地」で生育地が把握された。ため池の回りに寸断されて生育している。「玖珠丘陵地・山地」,「豊後水道後背地域」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。 |
| 備考    |  |

# ヒロバスゲ

学名 *Carex insaniae* Koidzumi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県の分布域は県の北西部に限られており、個体数も少ない。生育地一帯は林業が盛んで、スギ・ヒノキの植林地が広がり、施業に伴う生育環境の悪化が懸念される。

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地                 |
| 分布域   | 本州(中部, 近畿, 中国), 四国, 九州(大分)      |
| 世界的分布 | 南千島                             |
| 生育環境  | 共に山地の尾根岩場や林縁。                   |
| 現 状   | 登山路沿いの岩場や林縁に希に生育している。           |
| 備 考   | ヒロバスゲの生育地は九州では本県だけで、分布の南限域にあたる。 |

# アオバスゲ

学名 *Carex insanae* Koidzumi subsp. *papillaticulmis* (Ohwi) T.Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県の分布域は県の北西部に限られており、個体数も少ない。生育地一帯は林業が盛んで、スギ・ヒノキの植林地が広がり、施業に伴う生育環境の悪化が懸念される。

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地            |
| 分布域   | 本州(中部, 近畿, 中国), 四国, 九州(大分) |
| 世界的分布 | 南千島                        |
| 生育環境  | 共に山地の尾根岩場や林縁。              |
| 現 状   | 登山路沿いの岩場や林縁に希に生育している。      |
| 備 考   |                            |

## コジュズスゲ

学名 *Carex jackiana* Boott var. *macroglossa* (Franch. et Savat.) Kükenth.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 県内分布  | (耶馬溪地区)                        |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)                       |
| 生育環境  |                                |
| 現 状   | 「耶馬溪地区」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   |                                |



# コウボウムギ

学名 *Carex kobomugi* Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

海岸域にかなりの生育地があり、しばしば群生する。砂丘の消滅や海岸改修による環境の悪化で、生育地の減少が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域                          |
| 分布域   | 北海道(西半部), 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 台湾, ウスリー, 中国(北部), 中米東部(帰化)       |
| 生育環境  | 海岸の砂地。  |
| 現状    | 海岸開発や踏みつけ, 砂丘の変化による植生遷移で生育状況の衰退した所がある。          |
| 備考    |   |

# クジュウツリスゲ

学名 *Carex kujuzana* Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)



## 【選定理由】

火山性高原を生育地とするが、生育地は点在し、範囲は狭く、個体数は多くない。草地開発で消滅した生育地もある。開発や植林、野焼きの停止などの植生の遷移で、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, (九重火山群), 由布・鶴見火山群   |
| 分布域   | 本州(岩手, 宮城, 長野), 九州(大分)  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)  |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の草原。   |
| 現 状   | 基準標本産地の「九重火山群」の生育地は把握されていない。その生育地は植林または草地開発された可能性が大きい。                        |
| 備 考   | 大分県の特産種とされる。基準標本産地[久住山]。リクチュウツリスゲ (subsp. <i>dissitispicula</i> ) と同種とする説もある。 |

## アズマスゲ

学名 *Carex lasiolepis* Franch.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (英彦山・犬ヶ岳山地)                              |
| 分布域   | 北海道(アポイ岳),本州(北～中部),四国(徳島),九州(福岡・大分)      |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 「英彦山・犬ヶ岳山地」から採集された標本はあるが、その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   |  |

## ハタベスゲ

学名 *Carex latisquamea* Komar.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (九重火山群)  |
| 分布域   | 北海道,本州(岩手・長野),九州(大分)                             |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),ウズリー                                |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 「九重火山群」の文献記録はあるが, その生育地は把握されていない。                |
| 備 考   | 文献[大井次三郎:Cyperaceae Japonica II 京都大学理学部紀要(1975)] |

# センダイスゲ

学名 *Carex lenta* D. Don subsp. *sendaica* (Franch.) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は希で、個体数も少ない。海岸開発などで崖地が改変され、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道域  |
| 分布域   | 本州(仙台以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・大分)                           |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国   |
| 生育環境  | 海岸の崖地。   |
| 現 状   | 最近, 生育地が確認されたもので, 「豊後水道域」の同様な環境では, 他にも生育地があるものと思われる。 |
| 備 考   |  |

# タイワンスゲ

学名 *Carex ligata* Boott subsp. *formosensis* (Lév. et Van.) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

把握された生育地は、神社の参道近くの林縁で、生育範囲はさほど広くない。参道の改修や除草などで群生地が損傷される危険性が高い。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地                        |
| 分布域   | 本州(栃木:高館山),九州(福岡・佐賀・熊本・大分・鹿児島) |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部),台湾                    |
| 生育環境  | 低地の林縁。                         |
| 現 状   | 参道沿いの生育地では、草刈りされて衰退している。       |
| 備 考   |                                |

# チュウゼンジスゲ

学名 *Carex longerostrata* C. A. Mey. var. *pallida* (Kitagawa) Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

国内の分布域は狭い。本県の生育地は野焼きされるススキ草原で、生育地は散在し、個体数は少ない。草原の植林や野焼きの停止などによる、環境変化が懸念される。

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 県内分布  | 九重火山群, 由布・鶴見火山群, (大分川・大野川丘陵地)        |
| 分布域   | 本州(北～中部), 九州(大分)                     |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), アムール                  |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の草原。                          |
| 現 状   | 「大分川・大野川丘陵地」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物で, 本県は分布の南限域にあたる。          |

# キノクニスゲ

学名 *Carex matsumurae* Franch.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

県内の生育地は限定され、主として島や岬を中心に分布し、いずれの生育地も個体数は多くない。林の伐採、海岸工事などで生育地の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 姫島・国東海岸, 豊後水道域                          |
| 分布域   | 本州(富山, 三重以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎) |
| 世界的分布 | 朝鮮半島                                    |
| 生育環境  | 海岸の林縁や林内。                               |
| 現 状   | 島や岬の林内は人為的な影響は少ないが、人里近くの生育地では消滅した所がある。  |
| 備 考   |   |



## フサスゲ

学名 *Carex metallica* Lév.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県内での生育地は極めて希。周辺地は公園広場や海水浴場になっていてクロマツなどの株元にわずかに生育している。個体数も少なく、土地改変や採草などの人為による、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地),別府湾沿岸域                       |
| 分布域   | 本州(山口),四国,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)       |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,台湾                                |
| 生育環境  | 海岸の礫地や林縁。                              |
| 現状    | ある海岸の生育地では,役所を通して採草などに留意するよう保全策を講じている。 |
| 備考    | 「中津・宇佐低地」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。       |

## ヌマクロボスゲ(シラカワスゲ)

学名 *Carex meyeriana* Kunth

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

県内の生育地は泥炭湿原に点在し、自然公園以外の生育地は、水田開発や草地開発などでほとんど消滅しており、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群   |
| 分布域   | 本州(北～中部),九州(福岡・佐賀・大分)   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),シベリア   |
| 生育環境  | 低山地から山地の泥炭湿原。   |
| 現状    | かつては広い泥炭湿原に群生していたが,草地開発や水田開発などでほとんど消滅した。自然公園内の生育地は,辛うじて保全されている。 |
| 備考    | ヌマガヤやミズゴケ類を伴う湿原に群生し,しばしば顕著な谷地坊主をつくる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]            |

## ミタケスゲ

学名 *Carex michauxiana* Bocklr. var. *asiatica* (Hult.) Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

泥炭湿原に生育する北方寒冷地要素の植物で、本県が分布の南限域にあたる。過湿な水湿地に生え、群生しているが、面積は狭い。生育環境の変化により、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群  |
| 分布域   | 北海道,本州(北～中部),九州(大分)                                      |
| 世界的分布 | 千島,カムチャッカ  |
| 生育環境  | 低山地の湿原。  |
| 現 状   | 湿原内の過湿な水湿地に生え、群生していて個体数はかなりみられる。生育地の一部は乾燥化し、生育状態が悪化している。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、「九重火山群」は西南日本唯一の生育地で分布の南限域となっている。       |

# サワヒメスゲ

学名 *Carex mira* Kükenth.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は限られ、個体数も多くない。生育地は溪流辺の岩場で、河川の氾濫や護岸工事などで、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 大野川上流域   |
| 分布域   | 本州(東海・近畿・中国地方),四国,九州(福岡・大分)                            |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)   |
| 生育環境  | 低山地の河岸の岩場。   |
| 現 状   | 生育地の岩場付近は水量が多く、容易に近づくことが出来ない環境にあるが、しばしば河岸崖地の工事が行われている。 |
| 備 考   |  |

# キシウナキリスゲ

学名 *Carex nachiana* Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は狭い。県内の生育地は極めて希で、生育範囲も狭い。露出した崖地や林縁に生えるため、河岸工事や道路工事などによる絶滅した危険性は高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 豊後水道域, 石灰岩地域                                    |
| 分布域   | 本州(和歌山・山口), 四国, 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)                |
| 世界的分布 | 中国  |
| 生育環境  | 低地の崖地や林縁。石灰岩地。                                  |
| 現 状   | 採集された標本だけであったが、ごく最近、その生育が把握された。県内での生育地は極めて希である。 |
| 備 考   |   |

# ミヤマイワスゲ

学名 *Carex odontostoma* Kükenth.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

全国的にも分布が限られ、県内でも生育地は狭い範囲に限定される。乾燥した山頂帯の草地や岩場の登山路に生育しており、生育環境の変化による絶滅が懸念される。

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 祖母・傾山地, 北川上流域            |
| 分布域   | 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎)              |
| 世界的分布 | 台湾                              |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の岩場。                     |
| 現 状   | 登山路沿いのものは、登山者の踏圧で、生育状態が悪くなっている。 |
| 備 考   |                                 |

## ヤチカワズスゲ

学名 *Carex omiana* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

過湿な湿地に群生し、しばしば湿原群落の優占種となる。県内分布は少なく、湿地の生育環境の変化や開発に伴って、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群   |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                                |
| 世界的分布 | 南千島   |
| 生育環境  | 低山地や山地の水湿地。   |
| 現 状   | 低山地の湿地は, 草地開発などで消滅した所がある。また, 水の供給が悪くなって乾燥化し, 生育環境が悪化している所もみられる。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物で, 九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]                     |

## コハリスゲ

学名 *Carex onoei* Franch. et Savat. var. *krameri* Kükenth.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

山地の湧水湿地に生え、生育範囲は狭い。周辺地の植生遷移の進行や風水害による生育環境の変化が懸念される。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 県内分布  | (九重火山群),祖母・傾山地                 |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(大分・宮崎・鹿児島)        |
| 世界的分布 | 朝鮮半島                           |
| 生育環境  | 山地の湧水湿地。                       |
| 現 状   | 大水による崩壊で消失した生育地がある。            |
| 備 考   | 「九重火山群」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。 |



## エゾツリスゲ

学名 *Carex papulosa* Boott

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県,熊本県が分布の南限域となっている。生育地は散在しているが,個体数は多くない。過湿環境を生育地としており,湿原の生育環境の悪化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区,日田低地・丘陵地,津江山地,玖珠丘陵地・山地,九重火山群,由布・鶴見火山群    |
| 分布域   | 北海道,本州(東北地方,栃木,福島,長野),九州(熊本・大分)                |
| 世界的分布 | ウスリー   |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の湿地。                                    |
| 現状    | 安定した湿地に群生しているが,いずれも生育する範囲は狭い。乾燥化して生育の衰退した所がある。 |
| 備考    | 北方寒冷地要素の植物で,九州は分布の南限域にあたる。                     |

## タカネマスクサ

学名 *Carex planata* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地、個体数とも極めて少なく、生育地は市街地にあつて、多くの環境変化の要因により、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 大野川上流域   |
| 分布域   | 北海道(石狩),本州,四国,九州(福岡・大分)  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低地の池畔。   |
| 現 状   | 池の石垣に生育する。個体数は極めて少なく、池の改修や除草などで衰退している。「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   | 九州は分布の南限域にあたる。   |

## クジュウスゲ

学名 *Carex sachalinensis* Fr. Schmidt var. *elongatula* (Ohwi) Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域は狭い。県内で確認された生育地、個体数はともに僅少。森林伐採や植生遷移による環境変化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群   |
| 分布域   | 四国,九州(大分)   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地や火山山頂帯の林縁や林内。  |
| 現 状   | 精査すれば, 当該分布地域で他の生育地が確認できるものと思われる。   |
| 備 考   | 基準標本産地[久住山米山]。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。オオイトスゲ(var. <i>alterniflora</i> )に似ているが, 果の嘴が長い。 |

# ジングウスゲ

学名 *Carex sacrosancta* Honda

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地が希で、個体数も少ない。神社境内などの人里近い陰地にも生え、生育地の減少や消滅の危険性が高い。

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 大分川・大野川丘陵地, 北川上流域             |
| 分布域   | 本州(近畿, 伊豆七島: 三宅島), 四国, 九州(佐賀・大分・鹿児島) |
| 世界的分布 | 台湾                                   |
| 生育環境  | やや湿った溪谷沿いの岩場や神社境内地。                  |
| 現 状   | 神社境内地に生えているものは, 生育状態が衰退している。         |
| 備 考   |                                      |

## サドスゲ

学名 *Carex sadoensis* Franch.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 県内分布  | (九重火山群)                              |
| 分布域   | 北海道,本州(北～中部,伯耆大山),九州(大分)             |
| 世界的分布 | 樺太(南部),南千島                           |
| 生育環境  | 低山地の湿地。                              |
| 現 状   | 「九重火山群」で採集されているが, 生育地付近の草地開発により現状不明。 |
| 備 考   |                                      |

# アブラシバ

学名 *Carex satsumensis* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県の西部から中部地域に点在し、生育地は少ない。崩壊地の植生の回復、河川改修などの環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 県内分布  | 津江山地,九重火山群,由布・鶴見火山群                |
| 分布域   | 本州(福島以西),四国,九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 | 台湾,フィリピン,インドシナ                     |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の崩壊地や川原。                    |
| 現状    | 植生遷移に伴う生育環境の変化で、生育状態の衰退した生育地がある。   |
| 備考    |                                    |

## ツクシナルコ

学名 *Carex subcernua* Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅰ B (EN)

NO IMAGE

## 【選定理由】

「中津・宇佐低地」のため池に集中して生育している。池畔の汚染や池の補修などで生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地  |
| 分布域   | 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低地の池畔や湿地。  |
| 現 状   | 「中津・宇佐低地」のため池には、所々に株をつくって群生しているが、築堤近くや上辺では、生育状態の悪化したものがみられる。 |
| 備 考   | 九州の特産種。  |

# アゼスゲ

学名 *Carex thunbergii* Steud.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は主として火山性高原の湿地に散在し、しばしば群生する。高原の湿地開発や河川改修などで、生育地の減少が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群                    |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国?, 九州(大分)  |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の湿地や水流辺。   |
| 現 状   | かなり安定した湿地や水流辺に群生するが, ヤマアゼスゲやカサスゲなどより少なく, 丘陵地の生育地では消滅した所がある。 |
| 備 考   | 本県は分布の南限域にあたる。  |



# オオアゼスゲ

学名 *Carex thunbergii* Steud. var. *appendiculata* (Trautv.) Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

泥炭湿原を生育地とするが、生育地、個体数ともに極めて少なく、草地開発で消滅した生育地が多い。現存している生育地も、植生遷移の進行に伴って生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群   |
| 分布域   | 北海道,本州(山地),九州(大分)   |
| 世界的分布 | 樺太,千島,カムチャッカ,アムール,ウスリー,朝鮮半島(北部),中国(東北部)                                 |
| 生育環境  | 低山地や山地の泥炭湿原。  |
| 現状    | 火山性高原での生育地は、ほとんど消滅している。   |
| 備考    | 叢生して株が発達し、顕著な谷地坊主をつくる。北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、本県は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。 |

# ツクシスゲ

学名 *Carex uber* Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

県内では生育地は狭く、個体数も少ない。河川工事や道路工事などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 県内分布  | 大野川上流域                  |
| 分布域   | 四国(高知),九州(長崎・大分)        |
| 世界的分布 |                         |
| 生育環境  | 低地の河岸や林縁。               |
| 現 状   | 河岸改修や道路工事などで消滅した生育地がある。 |
| 備 考   |                         |

# オニナルコスゲ

学名 *Carex vesicaria* L.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

池畔の水湿地に群生しているが、生育地は局限し、水位の変化や池の水生植物と競合して生育状態が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群   |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(大分・宮崎)                                |
| 世界的分布 | 北半球温帯   |
| 生育環境  | 低山地の水湿地。  |
| 現 状   | 近年,池の水位の変動が大きく,カサスゲと競合して生育状態が悪化し,個体数が著しく減少している。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物で,隔離分布し,九州は分布の南限域にあたる。                |

# ツクシオオガヤツリ

学名 *Cyperus ohwii* Kükenth.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県でも河岸に野生状態で生育していることが確認された。生育地は狭く、個体数も僅少である。大水などでの環境変化や流失による絶滅の危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 大分川・大野川丘陵地   |
| 分布域   | 本州(茨城),九州(福岡・大分)                                     |
| 世界的分布 | マレーシア,インド  |
| 生育環境  | 低地の河岸水湿地。  |
| 現 状   | 入り江状になった河岸に沿って生育し,生育地は狭く,個体数も少ない。最近,定着したもののようなものである。 |
| 備 考   | 今後,引き続き生育状態の観察が必要である。                                |

# ムギガラガヤツリ

学名 *Cyperus unioloides* R. Br.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I A (CR)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地)   |
| 分布域   | 四国,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・鹿児島)                                |
| 世界的分布 | 中国,インド,オーストラリア,北米(西南部),南米,アフリカ                        |
| 生育環境  |   |
| 現 状   | 「中津・宇佐低地」で採集された標本はあるが、その後、生育地の状況が変わり、その生育状態は把握されていない。 |
| 備 考   |   |

## ミスミイ

学名 *Eleocharis acutangula* (Roxb.) Schult.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

ため池の水湿地に生えるが、生育地、個体数とも少ない。池の水位の変化により生育状態が悪化した所があり、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 中津・宇佐低地                          |
| 分布域   | 本州(紀伊半島),九州(福岡・大分・鹿児島)                  |
| 世界的分布 | 台湾,中国,インド,オーストラリア,熱帯アメリカ                |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池沼。                              |
| 現 状   | 比較的水位の安定した池沼の水沢地に生える。水位が変化して衰退した生育地がある。 |
| 備 考   | 暖地植物で,本邦の生育地は,分布の北限域にあたる。               |

# オオヌマハリイ

学名 *Eleocharis mamillata* Lindb. fil.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地の池沼は少なく、個体数も僅少。火山性高原の各種開発で生育環境が悪化し、減少や消滅が懸念される。

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 県内分布  | 九重火山群                  |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(福岡・佐賀・熊本・大分) |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),ウズリー      |
| 生育環境  | 低山地の池沼。                |
| 現 状   | 生育地の水環境が悪化して衰退した所がある。  |
| 備 考   | 九州は分布の南限域にあたる。         |

## シオカゼテンツキ

学名 *Fimbristylis cymosa* (L.) R. Br. var. *spathacea* (Roth) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

本県では「豊後水道域」の南端に希に生育し、個体数も少ない。波の侵食や釣り人による踏圧などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 県内分布  | 豊後水道域                          |
| 分布域   | 本州(関東以西), 四国, 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 | 台湾, 中国, インド, マレーシア, オーストラリア    |
| 生育環境  | 海岸の岩の間隙。                       |
| 現 状   | 生育する範囲は狭く、波の侵食により衰退した所がある。     |
| 備 考   | 暖地植物。                          |



## ツクシテンツキ

学名 *Fimbristylis dichotoma* (L.) Vahl subsp. *podparpa* (Nees et Meyen) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域は狭く、温泉噴気孔付近だけに生育する。土地開発や噴気孔の消失などによる生育地の減少が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域                      |
| 分布域   | 九州(熊本・大分・鹿児島)                                |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 温泉噴気孔付近の草地。                                  |
| 現 状   | 温泉噴気の影響で他の植物の侵入は少ないが、土地造成や噴気孔の埋設により消滅した所がある。 |
| 備 考   | 九州特産種で、本県は分布北限域。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]             |

# オノエテンツキ

学名 *Fimbristylis fusca* (Nees) C.B.Clarke

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (耶馬溪地区), (中津・宇佐低地)                         |
| 分布域   | 四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                     |
| 世界的分布 | 中国南部,インドシナ,マレーシア,インド                       |
| 生育環境  | 記載されている「大分縣植物誌」(1953)には,生育地は「山地原野」と記されている。 |
| 現 状   | 生育地及び生育状況不明。                               |
| 備 考   |  |

# ナガボテンツキ

学名 *Fimbristylis longispica* Steud.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

県内で把握された生育地は、砂れきのたまった海岸の護岸舗道上であり、生育範囲は狭く、個体数も多くない。護岸の改修や除草作業などの人為的な原因で、絶滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 別府湾沿岸域  |
| 分布域   | 本州(中部以南,伊豆諸島),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部),マリアナ群島                                 |
| 生育環境  | 海岸の砂れき地。  |
| 現 状   | 2006年に「別府湾沿岸域」で発見されたが、それ以後、県内での新たな生育地は見つかっていない。 |
| 備 考   |   |

## ノハラテンツキ

学名 *Fimbristylis pierotii* Miq.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (耶馬溪地区), (日田低地・丘陵地), (玖珠丘陵地・山地), (九重火山群), (豊後水道域)    |
| 分布域   | 本州(近畿, 中国), 四国, 九州(佐賀・長崎・大分)                         |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国, インド, フィリピン                                 |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 1920年代から30年代にかけて上記地域で採集されているが, その生育地は, いずれも把握されていない。 |
| 備 考   |  |

# ビロードテンツキ

学名 *Fimbristylis sericea* (Poir.) R. Br.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県では、主として中部以北の海岸砂地に生育している。海岸の埋立てや砂浜の攪乱によって生育地の消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域                                  |
| 分布域   | 本州(北陸, 関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球  |
| 世界的分布 | 台湾, 中国, インドシナ, インド, マレーシア, オーストラリア               |
| 生育環境  | 海岸の砂地。   |
| 現状    | 海岸の埋立てや海水浴場・キャンプ地などによって生育地が消滅したり, 攪乱されて衰退した所がある。 |
| 備考    |  |

# ミカツキグサ

学名 *Rhynchospora alba* (L.) Vahl

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、九州は分布の南限域にあたる。泥炭湿原の過湿地に生育しているが、湿原内の生育地は水の供給が悪くなって乾燥化し、生育環境の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群   |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(福岡・大分・宮崎)   |
| 世界的分布 | 欧亜,北米(北東部)  |
| 生育環境  | 低山地の湿地。   |
| 現状    | 湿原内の水溝に沿って群生しているが、もともと湿原の凹地(シュレンケ)に生える植物で、その生育地は湿原の上辺からの水の供給が中断され、乾燥化して生育状態が悪化している。 |
| 備考    | 北方寒冷地要素の植物。九州は分布の南限地にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう,瀬戸内海]                                      |

# オオイヌノハナヒゲ

学名 *Rhynchospora fauriei* Franch.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

隔離分布し、本県の生育地は分布の南限域にあたる。泥炭湿原の凹地(シュレンケ)に生えるものが、湿原中の人工的な水溝湿地に逸出し、不安定な生育環境にある。生育環境の悪化に伴って絶滅の危険性が極めて高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群                                    |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(大分)                            |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低山地の泥炭湿原。                                |
| 現 状   | もともと泥炭湿原の凹地に生えるが、その生育地は乾燥化し、生育状態が悪化している。 |
| 備 考   | 隔離分布し、本県は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]     |

## ミクリガヤ

学名 *Rhynchospora malasica* C. B. Clarke

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

やや大形の暖地植物で、これまで「豊後水道域」の離島の崖下で小群生地を確認している。植生遷移の進行による生育環境の変化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 豊後水道域   |
| 分布域   | 本州(東海道,近畿南部,中国),九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島)                        |
| 世界的分布 | 台湾,マレー半島,マレーシア  |
| 生育環境  | 海岸の崖下湿地。  |
| 現 状   | 1978年に、離島の崖下に生育する小群落を確認したが、人による攪乱はなく、持続して生育しているものと思われる。 |
| 備 考   |   |



## トラノハナヒゲ

学名 *Rhynchospora rugosa* (Vahl) Gale subsp. *brownii* (Roem. et Schult.) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

暖地植物でため池の池畔湿地に群生するが、生育地は極めて希で、群生地面積も狭い。近年、帰化植物が進出して生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地  |
| 分布域   | 本州(近畿南部, 中国), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄  |
| 世界的分布 | 台湾, 中国, 旧世界の亜熱帯～熱帯   |
| 生育環境  | 低地の池畔湿地。   |
| 現 状   | 近年, 湿地にメリケンカルカヤ ( <i>Andropogon virginicus</i> ) が繁茂し, 生育地が攪乱されている。「別府湾沿岸域」の生育地は, 道路拡幅のため1974年に消滅した。 |
| 備 考   |  |

# ハタベカンガレイ

学名 *Schoenoplectus gemmifer* C.Sato, T.Maeda & Uchino

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

2004年に新種として記載された植物で、県内では「豊後水道後背地域」の川と「玖珠丘陵地・山地」の湿原の流水中に隔離分布している。生育地が限られており、水環境の変化で絶滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 豊後水道後背地域, 玖珠丘陵地・山地  |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 水路, 流水などの水中や湿原周辺の水溝。  |
| 現状    | 「玖珠丘陵地・山地」の生育地は, 湿原の周辺を流れる小川で, 安定しているが, 「豊後水道後背地域」の生育地は, 人里近くのかかなり大きな川で, 生育環境の変化が著しい。 |
| 備考    |   |

## ノグサ

学名 Schoenus apogon Roem. et Schult.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は希で、草丈の低い一年草。その生育状態は湿地環境の変化に強く影響される。近年、生育地に帰化植物の進入が著しく、生育地が攪乱されて、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地  |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・大分・鹿児島)  |
| 世界的分布 | マレーシア, オーストラリア   |
| 生育環境  | 低地の水湿地。  |
| 現状    | 池畔湿地には、メリケンカルカヤ ( <i>Andropogon virginicus</i> ) などの帰化植物の進入が著しい。 |
| 備考    |  |

# ウキヤガラ

学名 *Scirpus fluviatilis* (Torr.) A. Gray

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県での分布域は狭く、生育地は点在して個体数は少ない。池畔湿地を生育地とするため、湿地や周辺地の環境変化で生育環境の悪化が懸念される。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 県内分布  | 国東地区, 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 由布・鶴見火山群   |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・鹿児島)   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, 台湾, 北米, オーストラリア |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池畔湿地。                       |
| 現 状   | 「中津・宇佐低地」で生育環境が悪化した池沼がみられる。        |
| 備 考   |                                    |

# コマツカサスキ

学名 *Scirpus fuirenoides* Maxim.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は比較的狭く、本県の生育地は主として火山地帯の湿地に点在し、個体数は多くない。湿地開発や湿地周辺地の環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)       |
| 世界的分布 |                                   |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の池畔や湿地。                    |
| 現 状   | 湿地開発されて消滅した生育地がある。                |
| 備 考   |                                   |

# ヒメカンガレイ

学名 *Scirpus mucronatus* L.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

2004年にハタバカンガレイが新種として発表され、これまでヒメカンガレイとされていたものの見直しを行った結果、県内のヒメカンガレイは、その一部がハタバカンガレイとされた。ヒメカンガレイは県内各地域のため池や湿地に生育しているが、その生育地は比較的少なく、個体数も多くなく、絶滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域                   |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                           |
| 世界的分布 | 中国, 中央アジア, ヨーロッパ  |
| 生育環境  | 湖沼や水湿地。   |
| 現状    | これまでヒメカンガレイとされていた「玖珠丘陵地・山地」, 「豊後水道後背地域」のカンガレイはハタバカンガレイとされた。 |
| 備考    |   |

## シズイ

学名 *Scirpus nipponicus* Makino

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地が極めて希で、個体数も少ない。池の水位の変化で、生育状態に消長がみられる。水環境の変化により、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群                                       |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・大分)                      |
| 世界的分布 | 中国(東北部)                                     |
| 生育環境  | 低山地の池沼。                                     |
| 現状    | 「由布・鶴見火山群」の池沼に生育していたが、築堤工事で水位が上昇し、水没して消滅した。 |
| 備考    | 九州の生育地は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。         |

## ツクシアブラガヤ

学名 *Scirpus rosthornii* Diels

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I A (CR)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 県内分布  | (日田低地・丘陵地), (玖珠丘陵地・山地)         |
| 分布域   | 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)               |
| 世界的分布 |                                |
| 生育環境  | 丘陵地の溪流辺や草地。                    |
| 現 状   | 上記の生育地は、いずれも生育状態の再確認ができず、現状不明。 |
| 備 考   |                                |



# サンカクイ

学名 *Scirpus triqueter* L.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



## [選定理由]

生育地は池沼や河川に限られていて、個体数も少ない。河川や池沼の改修、洪水による流失などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域          |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, ウスリー, マレーシア, インド～欧州(南部) |
| 生育環境  | 低地の水辺や湿地。                                  |
| 現 状   | 生育環境が変化して、生育状態が衰退した生育地がある。                 |
| 備 考   |  |

# カガシラ

学名 *Scleria caricina* (R. Br.) Benth.

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地)                                    |
| 分布域   | 本州(千葉以西,東海道,中国地方等),四国,九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄 |
| 世界的分布 | 台湾～インド,オーストラリア                               |
| 生育環境  | 低地の池沼。                                       |
| 現 状   | 採集された標本はあるが,その後,池沼の状況が変わり,その生育地は把握されていない。    |
| 備 考   |  |

## ミカワシンジュガヤ

学名 *Scleria mikawana* Makino

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (中津・宇佐低地)                                    |
| 分布域   | 本州(関東地方南部, 東海道), 九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島)            |
| 世界的分布 | インド, ニューギニア, アフリカ                            |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 採集された標本はあるが, その後, 池沼の状況が変わり, その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   |  |

# ビロウ

学名 *Livistona chinensis* R. Br. var. *subglobosa* (Hassk.) Becc.

目名

目名学名

科名 ヤシ科

科名学名 *Palmae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

日本では四国, 九州, 沖縄に分布する亜熱帯植物で, 県内では「豊後水道域」に分布する。竹林内や自然林内に生育しているものもあり, 森林化が進めば生育環境が悪化して消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 豊後水道域   |
| 分布域   | 四国,九州(福岡・長崎・大分・宮崎・鹿児島),沖縄                                       |
| 世界的分布 | 台湾  |
| 生育環境  | 離島や海岸の林内や崖地。  |
| 現 状   | 近づきやすい所では, 人により採取された所もある。                                       |
| 備 考   | 県指定天然記念物「高島のビロウ自生地」(佐賀関町), 「竹野浦のビロウ」(米水津村), 「沖黒島の自然林」(米水津村・蒲江町) |

## マイヅルテンナンショウ

学名 *Arisaema heterophyllum* Bl.

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

全国的に広く分布するが生育地は少ない。本県においても生育地は点在し、個体数は少ない。生育地の開発や森林化などの生育環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群,由布・鶴見火山群,大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域          |
| 分布域   | 本州,四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)                     |
| 世界的分布 | 台湾,朝鮮半島(南部),中国(東北部),中国                     |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地のやや湿った草地や林縁, 川沿いの草地。                |
| 現状    | 生育地の環境が変化して個体数が少なくなった所や, 生育の把握できなくなった所がある。 |
| 備考    |  |

## オキノシマテンナンショウ(ミミガタテンナンショウ)

学名 *Arisaema limbatum* Nakai et F.Maekawa var. *cospicuum* Serizawa

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

本県では「豊後水道域」南部の海岸に近い林内、林縁に分布する。生育地は狭く、個体数も限られる。林道工事や植林などによる影響を受け、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 豊後水道域   |
| 分布域   | 四国,九州(大分)   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 海岸に近い林内。  |
| 現 状   | 生育地は人為の及ぶような林内に点在し、個体数が少なくなった所がある。                      |
| 備 考   | ミミガタテンナンショウ( <i>A.limbatum</i> )とは分布域の違いなどで、その変種とされている。 |

## シコクヒロハテンナンショウ

学名 *Arisaema longepedunculatum* M. Hotta

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 県内分布  | (祖母・傾山地)                         |
| 分布域   | 四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)              |
| 世界的分布 |                                  |
| 生育環境  | 山地の林縁や林内。                        |
| 現 状   | 「祖母・傾山地」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   | ソハヤキ要素の植物。                       |

## ツクシテンナンショウ(オガタテンナンショウ)

学名 *Arisaema ogatae* Koidzumi

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県: IA(CR) 環境省: IA(CR)

NO IMAGE

## [選定理由]

本種は九州の特産種で宮崎県、熊本県に分布していたが、その北限地域として、大分県の「北川上流域」の生育地が確認された。個体数は非常に少なく、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 北川上流域   |
| 分布域   | 九州(熊本・大分・宮崎)  |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地の谷沿いの湿った岩場。  |
| 現 状   | 最初の発見は2007年、宮崎県境近くの谷沿い、2009年に別の水系の谷沿いで発見。2か所合わせて数十株ほど。付近にはシカもいて、その食害も懸念される。 |
| 備 考   |   |



# ヒロハテンナンショウ

学名 *Arisaema robustum* (Engl.) Nakai

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



## [選定理由]

生育地は低山地や山地に点在し、個体数は少ない。植生遷移の進行による生育環境の変化で生育地の現象が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, (祖母・傾山地)  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 九州(福岡・佐賀・大分・鹿児島)  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 樺太   |
| 生育環境  | 低山地や山地の林縁や林内。  |
| 現 状   | 山地の尾根などで、ササ類が密生する所では、生育状態が衰退している。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   |  |

## ユキモチソウ

学名 *Arisaema sikokianum* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (由布・鶴見火山群)  |
| 分布域   | 本州(静岡・三重・奈良), 四国, 九州(大分)  |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地の林縁にある野焼き草原の防火帯。   |
| 現 状   | 2005年「由布・鶴見火山群」の防火帯で撮影した写真があり, 邑田仁氏(東京大学教授)にユキモチソウであるとの同定をいただいた。その後, 何回かの探索でも生育地を確認することが出来ていない。 |
| 備 考   |   |

# ツクシヒトツバテンナンショウ

学名 *Arisaema tashiroi* Kitamura

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

九州特産種。本県の生育地は「祖母傾山地」に点在し、個体数も極めて少ない。植生遷移の進行や人による踏みつけなどの影響で、絶滅の危険性が高い。

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 県内分布  | 祖母・傾山地                |
| 分布域   | 九州(大分・宮崎・鹿児島)         |
| 世界的分布 |                       |
| 生育環境  | 山地の林内や林縁。             |
| 現状    | スズダケの密生により衰退している所がある。 |
| 備考    |                       |

# ナンゴクウラシマソウ

学名 *Arisaema thunbergii* Bl.

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

県内では海岸から内陸丘陵地まで分布している。海岸林などにまとまった個体数のみられる所があるが、生育地は点在している。森林伐採や林内の攪乱などで生育環境の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域 |
| 分布域   | 本州(中国地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄             |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地や低地の林縁や林内。   |
| 現状    | 以前はかなり多くの個体数がみられたが, 群生する生育地が少なくなっている。                   |
| 備考    |   |

# アオテンナンショウ

学名 *Arisaema tosaense* Makino

目名

目名学名

科名 サトイモ科

科名学名 Araceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域は本州の中国地方と四国,九州(熊本)となっていたが,国東半島の山岳地に生育地が見つかった。特有な耶馬溪層凝灰角礫岩の谷間に群生し,個体数は多くない。近くには仏閣が多く,人里近くで土地の改変などによる危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区,(豊後水道域)  |
| 分布域   | 本州(中国地方),四国,九州(熊本・大分)  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 国東半島の山岳地域の低地,水気が多い谷沿いに群生。                                      |
| 現 状   | まとまった生育地が2か所100株ほど見ついている。付近には仏閣などが多く,観光客も往来する寺院や神社の境内にも生育している。 |
| 備 考   |  |

# クロイヌノヒゲモドキ

学名 *Eriocaulon atroides* Satake

目名

目名学名

科名 ホシクサ科

科名学名 Eriocaulaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

「九重火山群」の雪田様たまり池に群生する1年草であり、コケモモやニッコウコウガイゼキショウなどと同様に北方系高山植物であろう。山頂帯湿地群落の重要な構成種であることから、永続的な繁殖が望まれる。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群  |
| 分布域   | 本州(秋田・山形・栃木・群馬),九州(大分・宮崎)                    |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 山腹や山頂帯のたまり池, 周辺地の水湿地。                        |
| 現 状   | くじゅう山群の山腹や山頂帯などに形成されたたまり池に群生し, 特殊な生態を形成している。 |
| 備 考   |  |

## ツクシクロイヌヒゲ

学名 *Eriocaulon kiusianum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ホシクサ科

科名学名 Eriocaulaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域が狭い。県内の生育地は点在し、生育地、個体数ともに少ない。低地での生育環境が変化して、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 九重火山群           |
| 分布域   | 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)   |
| 世界的分布 |                          |
| 生育環境  | 低地や山地の水湿地。               |
| 現 状   | 低地の生育地で水環境が悪化し、消滅した所がある。 |
| 備 考   |                          |

## イヌヒゲ

学名 *Eriocaulon miquelianum* Koern.

目名

目名学名

科名 ホシクサ科

科名学名 Eriocaulaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

「中津・宇佐低地」で採集された標本はあるが、生育地の池沼は改変され、その生育状況は把握されていなかった。新たに「九重火山群」の湿原で生育地が確認された。生育環境は特殊な湿地環境で、群生しているが個体数は多くない。水要因の変化に伴う、植生遷移で群落の衰退がみられる。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群, (中津・宇佐低地)  |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)   |
| 世界的分布 | 中国  |
| 生育環境  | 低山地のため池周辺や火山性の湿地。   |
| 現状    | 1999年, 2000年に「九重火山群」での生育地が確認された。生育地は狭く, 1年草で環境の変化に伴う生育状態の変化が見られる。湿原に生育するモウセンゴケやミミカキグサの類と共存することが多く, 人の立入りなどを制限する必要がある。 |
| 備考    |   |



# クジュウイヌヒゲ

学名 *Eriocaulon nakashimanum* Satake var. *superans* Satake

目名

目名学名

科名 ホシクサ科

科名学名 Eriocaulaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

九重火山群の山頂帯の池沼群を生育地とする。水環境の変化で生育状態に消長がみられ、登山者による生育地の踏み入れもあって、生育環境の悪化が懸念される。

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 県内分布  | 九重火山群                           |
| 分布域   | 九州(大分)                          |
| 世界的分布 |                                 |
| 生育環境  | 火山山頂帯の池畔湿地。                     |
| 現 状   | 1年草であることもあって、水環境の変化で生育に消長がみられる。 |
| 備 考   | 「九重火山群」の特産種。基準標本産地[星生山]。        |

# クロホシクサ

学名 *Eriocaulon parvum* Koern.

目名

目名学名

科名 ホシクサ科

科名学名 Eriocaulaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

県北地方の水田や湿地に生えるが、生育地が少なく、生育環境が安定していない。1年草のため、生育状態に著しい消長がみられ、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 中津・宇佐低地                                |
| 分布域   | 本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)                                      |
| 生育環境  | 低地の水田や湿地。                                     |
| 現 状   | 生育環境が悪化して、生育の持続が把握されていない生育地がある。               |
| 備 考   |   |

# ゴマシオホシクサ

学名 Eriocaulon senile Honda

目名

目名学名

科名 ホシクサ科

科名学名 Eriocaulaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域が狭く、県内での生育地は極めて希。山麓湧水に涵養された湿地に生育していたが、一帯は開発されて池となり、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (由布・鶴見火山群)   |
| 分布域   | 本州(東海道以西), 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島)                                    |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 丘陵地の湧水湿地。  |
| 現 状   | 生育環境は安定し、生育状態は良好であったが、最近、生育地一帯は池沼となって水没してしまった。周辺の水湿地に残存している可能性はある。 |
| 備 考   |  |

# ミズアオイ

学名 *Monochoria korsakowii* Regel et Maack

目名

目名学名

科名 ミズアオイ科

科名学名 Pontederiaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (大野川上流域)  |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・熊本・大分)                                       |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),中国,ウスリー,アムール                                       |
| 生育環境  | 低地の池沼。  |
| 現 状   | 1996年までは、「大野川上流域」の池で少ない個体を確認できたが、その後池の改修工事によりその生育地は消滅した可能性が大きい。 |
| 備 考   |   |

## ヒメコウガイゼキショウ

学名 *Juncus bufonius* L.

目名

目名学名

科名 イグサ科

科名学名 Juncaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

種としての分布域は広いが、本県では確認された生育地は少なく、個体数も僅少。近年、生育地一帯に帰化植物が進入し、生育環境が悪化して生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, (大野川上流域)  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)                                     |
| 世界的分布 | インド, インドシナ, ヨーロッパ, シベリア, 東亜～北米, ハワイ, オーストラリア, アフリカ, 南米<br>(ブラジル, イタ) |
| 生育環境  | 低地の湿地。   |
| 現 状   | 「別府湾沿岸域」の生育地は, 土地改変のため消滅。「大野川上流域」の標本はあるが現状不明。                        |
| 備 考   | 生育地に進入する帰化植物; メリケンカルカヤやアメリカスズメノヒエ。                                   |

# ニッコウコウガイゼキショウ

学名 *Juncus nikkoensis* Satake

目名

目名学名

科名 イグサ科

科名学名 Juncaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

火山山頂帯の池沼にごく希に生え、個体数も少ない。植生遷移の進行による生育環境の変化が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群  |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(大分)  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 火山山頂帯の池沼。  |
| 現状    | 生育地周辺には崩壊地もあって、生育環境は不安定である。                            |
| 備考    | 異名マツバコウガイゼキショウ (var. <i>pinifolius</i> ) の基準標本産地[星生山]。 |

## ツクシイヌイ

学名 *Juncus yokoscensis* (Franch. et Savat.) Satake var. *laxus* Satake

目名

目名学名

科名 イグサ科

科名学名 Juncaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

分布域は狭い。本県の生育地は極めて希である。湿原の浅い水溝で、帯状に狭い範囲に生えており、土砂による埋没や植生遷移の進行などにより、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群,(大野川上流域)                           |
| 分布域   | 九州(熊本・大分)                                |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 山地の湿原の水溝。                                |
| 現 状   | 生育地は湿原中の水溝で、幅1～2m、長さ15mほどの小面積。           |
| 備 考   | 九州特産種。「大野川上流域」の標本や記録があるが、その生育地は把握されていない。 |

## ナベワリ

学名 *Croomia heterosepala* (Baker) Okuyama

目名

目名学名

科名 ビャクブ科

科名学名 Stemonaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (英彦山・犬ヶ岳山地),(津江山地),(九重火山群),(祖母・傾山地)                               |
| 分布域   | 本州(関東地方南部以西),四国,九州(福岡・大分)   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地の林内。   |
| 現 状   | 「英彦山・犬ヶ岳山地」,「津江山地」,「九重火山群」,「祖母・傾山地」の標本や記録はあるが,その生育地はいずれも把握されていない。 |
| 備 考   | 国立公園指定植物[瀬戸内海]  |



# ケイビラン

学名 *Alectrorurus yedoensis* (Maxim.) Makino

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

分布域は四国,九州に限られ,岩場に群生している。本県では森林の伐採や林道の開発,人による採取で生育地の減少が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群,大分川・大野川丘陵地,豊後水道域,豊後水道後背地域,大野川上流域,石灰岩地域,祖母・傾山地,北川上流域 |
| 分布域   | 四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎)  |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 海岸から山地までの岩場。  |
| 現状    | 当該地域の溪谷の崖や森林内の岩上に群生しているが,人為の及ぶ所では,生育状況は以前より悪くなっている。       |
| 備考    | ソハヤキ系植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう,祖母傾]                           |

# タマボウキ

学名 *Asparagus oligoclonos* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)



## [選定理由]

日本での分布は阿蘇・くじゅう地域の火山性草原に限られ、草地開発や野焼きの中止による植生遷移の進行、植林などで、生育地、個体数ともに激減し、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 県内分布  | 九重火山群                               |
| 分布域   | 九州(熊本・大分)                           |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), アムール, ウスリー           |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の草原。                         |
| 現 状   | 野焼きが行われている草原の狭い範囲に、わずかな個体が生育している。   |
| 備 考   | 大陸系遺存植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。指定希少野生動植物。 |

# キキョウラン

学名 *Dianella ensifolia* (L.) DC. f. *racemulifera* (Schitter) Liu et Ying

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

亜熱帯まで分布は広がる。県内では豊後水道域の海岸の岩場の林縁に点在するが多くない。土地の改変や人による採取で消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道域  |
| 分布域   | 本州(紀伊半島), 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄              |
| 世界的分布 | 台湾, マレーシア  |
| 生育環境  | 海岸の草地や林縁。  |
| 現 状   | 島のもの安定しているが, 人と近接する生育地はしだいに少なくなり, 近年確認できない所が増えている。 |
| 備 考   | 国立公園指定植物[瀬戸内海]                                     |

## キバナチゴユリ

学名 *Disporum lutescens* (Maxim.) Koidzumi

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

低山地の林内に生え、生育地は散在し、個体数は少ない。森林伐採や植生遷移の進行による環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地 |
| 分布域   | 本州(和歌山:高野山), 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                   |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低山地の林内。  |
| 現 状   | 樹林内に生育するため、植生遷移の進行で生育状態が悪くなった所がある。                 |
| 備 考   | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]                  |

# ホソバナコバイモ

学名 *Fritillaria amabilis* Koidzumi

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

適潤地の林内に生え、個体数は極めて少ない。谷沿いの森林伐採や植林などにより、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 大分川・大野川丘陵地, 北川上流域 |
| 分布域   | 本州(中国地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)       |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 丘陵地た低山地の林内。                            |
| 現 状   | 生育地はスギ植林の適地でもあるので、伐採や植林が行われて消滅した所がある。  |
| 備 考   | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]           |

## キバナノアマナ

学名 *Gagea lutea* (L.) Ker-Gawl.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

本県は分布の南限域で、生育地、個体数とも極めて僅少。かなり人里近い河岸林縁を生育地とする。植生遷移の進行、河岸工事などにより、絶滅の危険性は極めて高い。

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 県内分布  | 九重火山群                           |
| 分布域   | 北海道,本州(北～中部,滋賀,岡山),九州(大分)       |
| 世界的分布 | 樺太,千島,朝鮮半島,中国,東シベリア,欧州          |
| 生育環境  | 低山地の河岸林縁。                       |
| 現 状   | 採草地と接した河岸林縁に生育し、付近では人の往来がみられる。  |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物。隔離分布し、本県は分布の南限域にあたる。 |

# キスゲ

学名 *Hemerocallis citrina* Baroni var. *vespertina* (Hara) M. Hotta

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

草原や湿地のかなり広い範囲に生育しているが、生育地が人工牧野や植林地などに改変されて縮小し、生育地の減少が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群                         |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                 |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の日当たりのよい草原。                                |
| 現 状   | 「由布・鶴見火山群」, 「九重火山群」の草原では, すでに数か所人工牧野となって消滅した所がある。 |
| 備 考   | 国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]                                  |

# ハマカンゾウ

学名 *Hemerocallis fulva* (L.) L. var. *littorea* (Makino) M. Hotta

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

分布域が狭く、県内では「豊後水道域」の崖地に生育している。海岸の道路工事や人による踏みつけ、採取などにより、生育環境の悪化や減少が懸念される。

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 県内分布  | 豊後水道域                       |
| 分布域   | 本州(関東地方南西部以西),九州(大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 |                             |
| 生育環境  | 海岸の崖地,草地や林縁。                |
| 現状    | 釣り人の多い岩場では生育地が荒廃している。       |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 日豊海岸]     |



# ベニカンゾウ

学名 *Hemerocallis fulva* (L.) L. var. *longituba* (Miq.) Maxim.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は点在し、人里に生育するため、圃場整備、道路工事など人為的な土地改変により、絶滅の危険性が高い。

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地,別府湾沿岸域,豊後水道後背地域,大野川上流域 |
| 分布域   | 本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)      |
| 世界的分布 | 台湾,中国                            |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の畦や草地,岩角地。                 |
| 現状    | 田の畦や土手などの生育地では、圃場整備工事で消失した所がある。  |
| 備考    |                                  |

# ブンゴギボウシ

学名 *Hosta alata* Hatusima

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

大分県特産で、「祖母・傾山地」だけに分布。生育地は極めて狭く、個体数も少ない。園芸による採取や植生の遷移などによる絶滅の危険性が高い。

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 県内分布  | 祖母・傾山地                               |
| 分布域   | 九州(大分)                               |
| 世界的分布 |                                      |
| 生育環境  | 山地の岩場。                               |
| 現 状   | 縦走路沿いの岩場や林道沿いの急峻な崖地のごく限られた場所に生育している。 |
| 備 考   | 大分県特産種。基準標本産地〔祖母山；竹田市・緒方町〕           |

# カンザシギボウシ

学名 *Hosta capitata* (Koidzumi) Nakai

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

本県での生育地は極めて希。生育する河岸崖地も広くない。崖地下は交通量が多い道路が巡り、狭隘なため、近々、その拡幅工事が予想され、生育地の改変による消滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 大分川・大野川丘陵地  |
| 分布域   | 本州(近畿), 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)                            |
| 世界的分布 | 朝鮮半島  |
| 生育環境  | 低地の湿った崖地。   |
| 現 状   | 道路沿いの北向きの河岸の崖地で、一部、流水が滝状に落下している。上辺及び下辺の林縁にも群生地がみられるがごく狭い。 |
| 備 考   |   |

# ヒュウガギボウシ

学名 *Hosta kikutii* F. Maekawa

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地も限られていて個体数も少なく、植生遷移の進行や人による採取で、生育地の減少や生育状態の悪化が懸念される。

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 県内分布  | 大野川上流域,祖母・傾山地,北川上流域                   |
| 分布域   | 四国,九州(大分・宮崎・鹿児島)                      |
| 世界的分布 |                                       |
| 生育環境  | 低山地や山地の湿った崖地。                         |
| 現 状   | 生育地は湿った岩場に限られ、しばしば水害による流失被害を受けることがある。 |
| 備 考   | ソハヤキ要素の植物。                            |

# ウバタケギボウシ

学名 *Hosta pulchella* N. Fujita

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)



## [選定理由]

「祖母・傾山地」に生育地は局限し、その量も少ない。人の踏みつけや採取などで消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 祖母・傾山地  |
| 分布域   | 九州(大分・宮崎)   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 山地の尾根岩場。  |
| 現 状   | 生育地が「祖母・傾山地」の一部に集中的に分布し、岩角地の縦走路沿いにも生育しているため、人の踏みつけや採取などで消滅した所がある。 |
| 備 考   | 祖母山の特産種。基準標本産地[祖母山]   |

## ノヒメユリ

学名 *Lilium callosum* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

全国的に分布域が狭く、本県においても現在生育地が確認できる所は極めて希である。生育地の草原が植林されたり、人工牧野などに改変され、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (英彦山・犬ヶ岳山地), 津江山地, (九重火山群), 大野川上流域, (豊後水道後背地域)              |
| 分布域   | 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                                   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 台湾, 中国, 中国(東北部), アムール                                 |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地のやや湿った半自然草原。   |
| 現状    | 「英彦山・犬ヶ岳山地」, 「九重火山群」, 「豊後水道後背地域」の標本や記録はあるが, その生育地は把握されていない。 |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 日豊海岸, 祖母傾]。                    |

# ヒメユリ

学名 *Lilium concolor* Salisb. var. *partheneion* (Sieb. et de Vriese) Baker

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)



## [選定理由]

生育地は点在し、個体数は極めて少ない。草原や湿地の開発により生育地を失い、年々減少している。絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)                                    |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), アムール                                     |
| 生育環境  | 丘陵地や低地の草地。  |
| 現 状   | 繁殖力が弱く, 草原, 湿地の管理放棄や開発で生育場所を失い, 消滅した生育地が多い。             |
| 備 考   | 大陸系遺存植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]。指定希少野生動物植物。            |

# ササユリ

学名 *Lilium japonicum* Thunb.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

九州の生育地は大分県と宮崎県に点在し、県内での個体数は極めて少ない。花は大きくきれいで人目につき易く、採取もされており、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 北川上流域, (耶馬溪地区)                            |
| 分布域   | 本州(静岡県・新潟県以西), 四国, 九州(大分・宮崎)              |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地の溪谷林内, 岩場。                             |
| 現 状   | 確認された生育地は2か所, 個体数は合わせて10株以内で, 絶滅寸前の状態にある。 |
| 備 考   |   |



# キバナノコオニユリ

学名 *Lilium leichtlinii* Hook. fil.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

かつては島の数か所に生え、個体数もかなりみられたが、人に採取され、わずかかに人の手が届かない崖の高所に数株が残っている。島はキャンプ地となっていて、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 県内分布  | 豊後水道域                          |
| 分布域   | 本州,九州(大分)                      |
| 世界的分布 |                                |
| 生育環境  | 海岸の崖地。                         |
| 現状    | 生育地,個体数とも極めて僅少。ほとんど絶滅状態。       |
| 備考    | 分布域が極めて狭く,隔離分布し,本県は分布の南限域にあたる。 |

# ヒメヤブラン

学名 *Liriope minor* (Maxim.) Makino

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

県内では分布は豊後水道域に限られ海岸の砂地や岩場に生育するが多くない。生育面積も狭く、埋め立て工事などの影響を受けやすく、生育地の消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道域  |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄         |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 海岸砂地や岩場。                                       |
| 現 状   | 「豊後水道域」の数カ所に記録されている。いずれも生育面積は狭く、生育環境も不安定な所が多い。 |
| 備 考   |  |

# ホソバナアマナ

学名 *Lloydia triflora* (Ledeb.) Baker

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は極めて希で、個体数も僅少。軟弱な草本であるため生育地の植生の遷移の影響を受けやすく、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群, 由布・鶴見火山群  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(大分)                                      |
| 世界的分布 | 千島, 朝鮮半島, 中国(東北部), 樺太, 中国(北～中部), ウスリー, シベリア, カムチャッカ      |
| 生育環境  | 低山地や山地の草地や林縁。  |
| 現 状   | 草原や林縁の生育地はごく希で生育環境が安定していない。小さい多年草で、植生遷移の進行による影響を強く受けている。 |
| 備 考   | 北方寒冷地要素の植物。本県は、分布の南限域にあたる。                               |

## ミドリヨウラク

学名 *Polygonatum inflatum* Komar.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県内では西部・中部・南部に生育する。個体数は多くない。林縁に生育するため、植生遷移の進行により、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域 |
| 分布域   | 本州(中国地方), 四国, 九州(熊本・大分)                             |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, ウスリー, 中国(東北部)                                 |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の林縁, 林内。                                     |
| 現 状   | 生育環境の変化で, 生育状態が衰退した所がある。                            |
| 備 考   | 大陸系遺存植物で九州は分布の南限域。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]                  |

## ワニグチソウ

学名 *Polygonatum involucratum* (Franch. et Savat.) Maxim.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県内では火山地域に集中的に分布し、個体数は少ない。丘陵地や低山地に生育するため常に森林伐採や植林などの環境変化の影響を受け、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 県内分布  | 九重火山群,大分川・大野川丘陵地    |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(大分・宮崎) |
| 世界的分布 | 朝鮮半島,中国(東北部),ウズリー   |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の林内や林縁。      |
| 現 状   | 森林伐採や植林で衰退した生育地がある。 |
| 備 考   | 国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]    |

# オニツルボ

学名 *Scilla scilloides* (Lindl.) Druce var. *major* Uyeki et Tokui

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

全国的にも分布は限られ、本県では「豊後水道域」の海岸や島の日当たりのよい岩上や林縁に生える。生育地は人里離れた所が多いが、生育環境が限定され、海岸開発や釣り人による環境変化が懸念される。

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 県内分布  | 豊後水道域                                 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・大分)                  |
| 世界的分布 |                                       |
| 生育環境  | 海岸の岩上の土壌のある所。                         |
| 現 状   | 「豊後水道域」では島に多いが、いずれの生育地も小さな群落で個体数も少ない。 |
| 備 考   |                                       |

## マルバサンキライ

学名 *Smilax vaginata* Decne. var. *stans* (Maxim.) T. Koyama

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

日本では本州北部に広く分布し、南下するにしたがって分布域が狭くなっている。本県では山地の谷部に生育する。森林の伐採や林道開発による生育地の消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 大野川上流域, 祖母・傾山地                          |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(大分・宮崎)                       |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 山地の渓流域林内。                               |
| 現 状   | ごく最近生育地が確認された。山地の溪谷沿い林内に生育し、個体数は極めて少ない。 |
| 備 考   |   |

## ナガエハナビゼキショウ(ハコネハナゼキショウ)

学名 *Tofieldia coccinea* Richards. var. *gracilis* (Franch. et Sav.) T.Shimizu

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (由布・鶴見火山群)                              |
| 分布域   | 九州(大分・宮崎)                               |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 火山山頂帯の岩場。                               |
| 現 状   | 1971年、「由布・鶴見火山群」で生育地が確認されたが、現在、生育状況は不明。 |
| 備 考   |   |



# ホトトギス

学名 *Tricyrtis hirta* (Thunb.) Hook.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県北地方の崖地に広く生育していたが、人による採取で消滅した生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地,(祖母・傾山地)                                 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)                                  |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の崖や岩場。   |
| 現 状   | 県北地方の凝灰岩の崖や岩場に生えるが、人里近い岩場や溪谷などのものは、ほとんど採取され、消滅してしまった所が多い。 |
| 備 考   | 「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。                           |

## タマガワホトギス

学名 *Tricyrtis latifolia* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は散在し、個体数も少ない。生育環境の変化に左右されやすく、遷移進行による生育状態の悪化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (耶馬溪地区), 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)                     |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地や山地の湿った岩場や林縁。                                    |
| 現状    | 山地の湿った半陰地に生育し、個体は少ない。「耶馬溪地区」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。 |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]                   |

# シロバナエンレイソウ

学名 *Trillium tschonoskii* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユリ科

科名学名 Liliaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地が極めて限られ、生育範囲は狭く、個体数も少ない。森林伐採や人による採取もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群,大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地                           |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(熊本・大分・宮崎)                             |
| 世界的分布 | 樺太,朝鮮半島  |
| 生育環境  | 低山地や山地の林内。   |
| 現状    | 落葉広葉樹の林床に生育しているが、個体数は少ない。開花期は人目につきやすく、しばしば採取されている。 |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]                           |

# キンバイザサ

学名 *Curculigo orchioides* Gaertn.

目名

目名学名

科名 ヒガンバナ科

科名学名 Amaryllidaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は点在し、個体数は多くない。日当たりのよい草原や林縁に生えるため、植生遷移の進行により生育環境が変わりやすく、その生育に消長があって、生育環境の変化が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 豊後水道域                                |
| 分布域   | 本州(中国地方以西), 四国九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄    |
| 世界的分布 | 台湾, インド, マレーシア, オーストラリア                     |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の草地や林縁。                               |
| 現 状   | 日当たりのよい草丈の低い草原に生え、植生遷移の進行の影響を受けて消滅した生育地がある。 |
| 備 考   |   |

# ノハナショウブ

学名 *Iris ensata* Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai

目名

目名学名

科名 アヤメ科

科名学名 Iridaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

本県では北部、西部、中部地域に偏在する。生育地、個体数ともにかなり多いが、生育地の改変や人による採取が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 東シベリア                                  |
| 生育環境  | 丘陵地から山地の湿地。   |
| 現状    | 野焼きの停止による植生遷移で、個体数が減少した所がある。観光地周辺では人による採取がみられる。       |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]                          |

# ヒメシャガ

学名 *Iris gracilipes* A. Gray

目名

目名学名

科名 アヤメ科

科名学名 Iridaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (英彦山・犬ヶ岳山地)                              |
| 分布域   | 本州(近畿以東), 四国, 九州(福岡・大分)                  |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 「英彦山・犬ヶ岳山地」で採集された標本はあるが, その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   | 国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]                        |

# カキツバタ

学名 *Iris laevigata* Fisch.

目名

目名学名

科名 アヤメ科

科名学名 Iridaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

九州では北部地方,本県では西北部地域に偏在し,生育地,個体数とも僅少。池畔の改変や植生の遷移で消滅する生育地があり,人による採取もあって,絶滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地                    |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・大分)                      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 東シベリア                           |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の池沼, 水湿地。                                |
| 現状    | 生育地の周辺部が開発され, 水環境の変化や他の水生植物との競合で生育状態が悪化した所がある。 |
| 備考    | 北方寒冷地要素の植物。                                    |

# エヒメアヤメ

学名 *Iris rossii* Baker

目名

目名学名

科名 アヤメ科

科名学名 Iridaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)



## [選定理由]

九州は分布の南限域。県内では主に火山性高原の草原や林縁に生育する。植林や草地改良、野焼きの中止などによる森林化が進み、生育地の縮小に加えて人による採取もあり、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 国東地区, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域  |
| 分布域   | 本州(中部地方西部), 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎)   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国  |
| 生育環境  | 低地から山地の主として火山性高原の草原や林縁。  |
| 現状    | 植林や草地改良, 地形の改変及び野焼きの中止などによる森林化, 盗掘により個体数は減少している。   |
| 備考    | 大陸系遺存植物で, 九州は分布の南限域にあたる。杵築市狩宿はその自生南限地として1925年に国指定天然記念物となったが, 指定地では絶滅して1971年に指定解除された。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海] |



# アオノクマタケラン

学名 *Alpinia intermedia* Gagnep.

目名

目名学名

科名 ショウガ科

科名学名 Zingiberaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

亜熱帯性植物で豊後水道域の島, 海岸の林内にごく限られ生育する。生育地・個体数は極めて少なく, 林縁近くのものには消滅した所もあり, 絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道域                                      |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎), 沖縄             |
| 世界的分布 | 台湾, 中国                                     |
| 生育環境  | 保存の良い海岸の林内。                                |
| 現 状   | 島に生育するものは群落をつくって開花や結実する。湾内のものは生育状態が悪化している。 |
| 備 考   |  |

# ヒナノシャクジョウ

学名 *Burmannia championii* Thw.

目名

目名学名

科名 ヒナノシャクジョウ科

科名学名 Burmanniaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

林内に生える微少な腐生植物で,生育地は極めて希で,個体数も僅少。良好な生育地が森林伐採で著しく攪乱され,絶滅の危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 津江山地, 由布・鶴見火山群                           |
| 分布域   | 本州(中～西部), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄 |
| 世界的分布 | 中国(南部), インド, マレー, マレーシア, セイロン島           |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の林内。                              |
| 現 状   | 良好な生育地が森林伐採で攪乱され, その消滅が懸念される。            |
| 備 考   | 国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]                   |

# シロシャクジョウ

学名 *Burmannia cryptopetala* Makino

目名

目名学名

科名 ヒナノシャクジョウ科

科名学名 Burmanniaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は極めて希で、生育面積も狭い。生育地に隣接して林内にシイタケのほだ木が入れられ、人為的な攪乱により絶滅の危険性が極めて高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区  |
| 分布域   | 本州(近畿), 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄                   |
| 世界的分布 | 中国(海南島)  |
| 生育環境  | 丘陵地の林内。  |
| 現 状   | 神社の境内林内に生育するが、その生育面積は極めて狭い。最近、近接する林内にシイタケが栽培されている。 |
| 備 考   |  |

# キリシマシャクジョウ

学名 *Burmannia liukuensis* Hayata

目名

目名学名

科名 ヒナノシャクジョウ科

科名学名 Burmanniaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)



## 【選定理由】

日本固有種で暖帯林内に生育する。本県ではアカガシ林やモウソウチク林の落葉に腐生する。「大分川・大野川丘陵地」、「大野川上流域」、「北川上流域」など各地で生育が確認されているが、繊細な腐生植物であり、樹木の伐採や攪乱による絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 北川上流域   |
| 分布域   | 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球   |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地, 低山地の常緑広葉樹林内。   |
| 現状    | 「北川上流域」では個体数が極めて少ないが, 「大分川・大野川丘陵地」や「大野川上流域」では, アカガシ林やモウソウチク林内などに散在している。 |
| 備考    |   |

## ヒナラン

学名 *Amitostigma gracile* (Bl.) Schltr.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

全国的に分布域が狭い。県内での生育地は点在し、個体数は少ない。植生遷移の進行や人による採取で、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域 |
| 分布域   | 本州(近畿以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)        |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国                              |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の岩場。                                     |
| 現状    | 岩場の環境変化や人による採取で消滅した所がある。                       |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 祖母傾]                 |

## シラン

学名 *Bletilla striata* (Thunb.) Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

日当たりの良い林縁や崖地に生育する。生育地は散在していて、しばしば群生する。土地の改変による生育地環境の変化で生育状態が悪化したり、人による採取が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 北川上流域 |
| 分布域   | 本州(中南部), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                     |
| 世界的分布 | 中国   |
| 生育環境  | 低地や丘陵地のやや湿った崖地や林縁。   |
| 現状    | 人による採取の対象となり, 人目につきやすい生育地では消滅したり, 個体数が大幅に減少している。           |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 日豊海岸]                            |

## マメヅタラン

学名 *Bulbophyllum drymoglossum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

生育地は点在し、林内の樹幹や岩上に着生して小群落をつくる。森林の伐採や林道開発で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 津江山地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域 |
| 分布域   | 本州(中～南部), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)                                 |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の常緑広葉樹, 針葉樹の樹幹及び林内の岩。             |
| 現 状   | 森林の伐採, 林道開発, 植林などにより生育環境が悪化している所がある。     |
| 備 考   | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]  |

# ムギラン

学名 *Bulbophyllum inconspicuum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

## 【選定理由】

かつては低地や丘陵地の林内、岩場に普通に生育していたが、森林伐採や人による採取などで激減しており、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                    |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の岩場や樹上。  |
| 現 状   | 人里近くの林内や岩場での生育地は消滅して、ほとんどみられなくなった。                   |
| 備 考   | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]              |



# ミヤマムギラン

学名 *Bulbophyllum japonicum* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

県内では「英彦山・犬ヶ岳山地」, 「豊後水道域」, 「豊後水道域後背地」などに記録があるが, 森林伐採, 人による採取等で絶滅の危険性は高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 英彦山・犬ヶ岳山地, 豊後水道後背地域, (九重火山群), 北川上流域            |
| 分布域   | 本州(中部地方以西), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)               |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 丘陵地の岩場や樹上。                                     |
| 現 状   | 最近では, 2002年に「豊後水道後背地域」, 2004年に「北川上流域」で確認されている。 |
| 備 考   |  |

## キリシマエビネ

学名 *Calanthe aristulifera* Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | (豊後水道後背地域)  |
| 分布域   | 本州(近畿以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)           |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 丘陵地の林内。   |
| 現 状   | 「豊後水道後背地域」での生育地では, ここ10年, 人による採取で, その生育は把握されていない。 |
| 備 考   |   |

# タガネラン

学名 *Calanthe davidii* Franch. var. *bungoana* (Ohwi) Hashimoto

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I A (CR)



## 【選定理由】

台湾などに近縁な仲間があり、本県だけに生育する。生育地は極めて希。個体数も数えるほどで、常に絶滅の危機に瀕している。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 豊後水道域   |
| 分布域   | 九州(大分)  |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 石灰岩の丘陵地林縁や林内。   |
| 現 状   | 生育地の一部は鉱山用地で一般の人の立ち入れない所にある。今後の石灰岩の発掘などにより、生育地を消滅することが考えられる。      |
| 備 考   | 本県の特産種とされる。基準標本産地[津久見市上青江]。マツダエビネ( <i>C.matsudai</i> )と同種とする説もある。 |

## エビネ

学名 *Calanthe discolor* Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)

NO IMAGE

## [選定理由]

かつては常緑樹林の谷沿い林内で多くの生育地がみられたが、植林や人による採取などで、野生状態で生育している所は少なくなり、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 石灰岩地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)   |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の林内。   |
| 現状    | 人里付近の生育地からほとんど姿を消し, 人為の及ばない谷などで希にみかけることがある。  |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]  |

# ナツエビネ

学名 *Calanthe reflexa* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

湿潤な溪流辺の林内に生育するが個体数は極めて少ない。人による採取が著しく、絶滅の危険性が高くなっている。

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 県内分布  | 耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地            |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) |
| 世界的分布 |                                   |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の湿った林内。                    |
| 現 状   | ほとんどの生育地は既に消滅したか, 消滅の危機に瀕している。    |
| 備 考   | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]      |

## キエビネ

学名 *Calanthe sieboldii* Decne.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

低地や丘陵地の林内に比較的好くみられたが、人による採取が著しく、絶滅の危険性が極めて高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域             |
| 分布域   | 本州(東海道以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)        |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の林内。                                      |
| 現 状   | 「豊後水道後背地域」では現在も生育しており、人による採取の報告がある。その数は年々減っている。 |
| 備 考   | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]              |

# サルメンエビネ

学名 *Calanthe tricarinata* Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地が限られ、個体数は少ない。森林伐採や人工林化、その管理放棄などによる環境変化や人による採取で、絶滅の危険性が高い。

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 県内分布  | 耶馬溪地区,英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 津江山地     |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)    |
| 世界的分布 | 中国,インド(北部)                          |
| 生育環境  | 丘陵地や低山地の肥沃な林内。                      |
| 現状    | かつての生育地で、確認できなくなった所や個体数の激減した生育地が多い。 |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]        |

## ギンラン

学名 *Cephalanthera erecta* (Thunb.) Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

県内の各地に散在するが、低地や丘陵地の生育地は植生遷移の進行により生育環境が変化し、生育状態に消長がみられる。また人による採取も懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 北川上流域 |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)  |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国  |
| 生育環境  | 低地から低山地の林縁や林内。  |
| 現 状   | 林縁や林内の生育地では, 下草の茂り具合によって生育が持続しない所がみられる。   |
| 備 考   | 国立公園指定植物[瀬戸内海]  |



# ユウシュンラン

学名 *Cephalanthera erecta* (Thunb.) Bl. var. *subaphylla* (Miyabe et Kudo) Ohwi

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

産地は局限され生育環境にも極めて敏感な小形植物。生育地周辺のわずかな変異でも消滅する脆弱な要因を抱え、個体も非常に少なく、絶滅の危険性が高い。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 九重火山群,豊後水道後背地域,祖母・傾山地                                       |
| 分布域   | 北海道,本州,九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)                                     |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地の林内。   |
| 現 状   | 生育地は陰地の狭い範囲に生育し、個体数も極めて少ない。環境変化に弱く、生育状態が持続しているか確認されないものがある。 |
| 備 考   |   |

## キンラン

学名 *Cephalanthera falcata* (Thunb.) Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



## [選定理由]

林縁や明るい林内に生育し、生育地は散在している。樹林の伐採や放置による遷移の進行など、生育環境の変化や人による採取で生育地の減少が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域 |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)   |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国  |
| 生育環境  | 低地や丘陵地の林縁や林内。   |
| 現状    | 里山の放置によって生育環境が変わって消滅したり, 人による採取で個体数の減少が目立ってきている。  |
| 備考    | 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 日豊海岸]  |

# ササバギンラン

学名 *Cephalanthera longibracteata* Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## 【選定理由】

生育地は散在し、ごく希に発見される。植生遷移による生育環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地                  |
| 分布域   | 北海道, 本州, 四国, 九州(大分)                      |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国(東北部), 樺太, 千島                    |
| 生育環境  | 低山地や山地の林内。                               |
| 現 状   | 生育地, 個体数が極めて僅少。生育地で持続して生育しているかどうか把握しにくい。 |
| 備 考   | 本県は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。          |

# ヒメノヤガラ

学名 *Chamaegastrodia sikokiana* Makino et F.Maekawa

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

本県の生育地はごくまれで、個体数は極めて少ない。森林伐採や植生遷移の進行などにより、生育地の消滅が懸念される。

|       |   |
|-------|---|
| 県内分布  | 祖母・傾山地                                      |
| 分布域   | 本州, 四国, 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)                    |
| 世界的分布 |   |
| 生育環境  | 低山地の林内。                                     |
| 現 状   | 最近, 生育地が把握された。目立ちにくいので同様な環境で他に生育している可能性がある。 |
| 備 考   |   |

# ムカデラン

学名 *Cleisostoma scolopendrifolium* (Makino) Garay

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

岩や樹皮に着生する小形のラン。県内の生育地は極めて希で、生育面積も狭い。周辺地の環境変化や人による採取で絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 別府湾沿岸域, 豊後水道域  |
| 分布域   | 本州(関東地方以西), 四国, 九州(佐賀・長崎・大分)                             |
| 世界的分布 | 朝鮮半島(南部)   |
| 生育環境  | 海岸の林縁や林内の岩, 樹上。  |
| 現 状   | 樹皮や岩に集団で着生している。いずれも範囲は狭く, 環境の変化で衰退した所や人による採取で消滅した所がみられる。 |
| 備 考   |  |

# トケンラン

学名 *Cremastra unguiculata* (Finet) Finet

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | (耶馬溪地区),(英彦山・犬ヶ岳山地)                        |
| 分布域   | 北海道,本州,四国,九州(大分)                           |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  |  |
| 現 状   | 「耶馬溪地区」,「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。 |
| 備 考   |  |

# ナギラン

学名 *Cymbidium lancifolium* Hook.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

暖地の常緑樹林内に希にみられ、個体数は僅少。人による採取で近年著しく減少し、絶滅の危険性が高い。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 別府湾沿岸域, 豊後水道域  |
| 分布域   | 本州(関東地方南部, 東海道, 伊豆七島以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄 |
| 世界的分布 | 台湾, インド, マレーシア, ミャンマー, ヒマラヤ                                |
| 生育環境  | 海岸及び丘陵地の保存の良い林内。   |
| 現 状   | 人による採取で消滅した生育地がある。   |
| 備 考   |  |

## マヤラン

学名 *Cymbidium nipponicum* (Franch. et Savat.) Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



## 【選定理由】

栃木県以南の常緑広葉樹の林内・林縁に生育する腐生ラン。いずれの生育地も個体数は少ない。県内では2001年に「大野川上流域」で初めて花を咲かせたマヤランが確認された。その後、2008年にも「豊後水道後背地域」で生育が確認されたが、個体数は極めて少なく。人による採取のおそれもあり、絶滅が懸念される。

|       |  |
|-------|--|
| 県内分布  | 豊後水道後背地域, 大野川上流域   |
| 分布域   | 本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)                            |
| 世界的分布 |  |
| 生育環境  | 常緑広葉樹林の林内・林縁。  |
| 現状    | 「大野川上流域」では数本が年により確認できる。2008年, 「豊後水道後背地域」で3株が確認されている。年による生育状況の消長が著しい。 |
| 備考    |  |